

明治廿六年三月廿五日

紙數 空行  
養川

百四拾六枚

証分二紙

城數馬

民法理由局  
証分編  
第貳部完



第二部 時効

第一章 時効ノ性質及ヒ通用

第八十九條 本條以下ニ於テ規定<sup>シム</sup>ル時効

ノ原理ハ甚々緊急ナルモ<sup>シ</sup>ナリ已ニ前段ニ於

テモ屢本法ノ下ニ在テ時効ノ有スル性質

ヲ指示セリ<sup>シム</sup>即チ一箇ノ推定タルコト是ナリ時

夫<sup>レ</sup>時効ノ性質ハ推定ナリ是ヲ以テ既判力ト同シ

ク之ヲ公益ニ關スル完全ナル推定中ニ列セ

タリ參看第七十六條

本條ノ法文ハ時効ノ定義ヲ下シテ曰ク取得

先免責ノ法律上ノ推定ナリト

先免ツ之ヲ公義ト正理トニ照テモテ考フルニ

凡今占有ニシテ若干ノ期間繼續ニタル為メ唯

此等一事ヲ以テ所有權ヲ取得セシメ或ハ債權

権者カ權利ノ行使ヲ為サハルコト若干ノ期間

ニ至リタルカ為メ之ヲ理由トシテ債務者

ノ責務ヲ免除セシメ之ヲ要スルニ時ノ經過

ニ附スルニ權利取得又ハ義務免除ノ効力ヲ以

テ與スルカ如キハ實ニ公義ニ戾リ正理ニ反スル

コトト是モト云フ可シ

前在ニ述フル如ク時ノ經過ノ事ヲ以テ權利

ル	其	ニ	立	着	且	ハ	テ	ヲ	前
ル	古	シ	立	之	且	全	テ	取	在
コ	有	レ	文	之	夫	ク	緻	得	ニ
ト	ス	テ	ル	ヲ	レ	無	密	義	述
ラ	ル	権	一	以	法	益	ニ	務	ル
肯	財	利	個	テ	律	ノ	取	ヲ	如
セ	産	ノ	ノ	他	ヲ	業	得	免	ク
サル	ヲ	証	証	ニ	以	ニ	及	除	時
可	保	據	ト	証	テ	帰	ヒ	ス	ノ
ニ	有	ヲ	為	據	時	ス	免	ル	經
蓋	ス	有	サ	ヲ	効	可	責	ニ	過
ニ	ル	セ	、	有	ノ	キ	ノ	足	ノ
時	為	サル	ル	セ	制	ニ	方	テ	事
ノ	ノ	ト	ト	サル	度	商	法	ハ	ヲ
經	時	キ	キ	者	ヲ	ノ	規	法	以
過	効	ト	ハ	ノ	確	為	定	律	テ
ノ	ヲ	ト	所	為	立	メ	ス	ヲ	權
ミ	援	雖	有	ニ	ス	ニ	ル	以	利
ラ	用	モ	者	設	ル	ト	コ	テ	日
	ス	其			モ		ト		

四 以テ直ニ財産ヲ取得スル如キハ廉直ノ者ノ

敢快トセサル所ナレハナリ

彼免責時効ニ就テ之ヲ考フルモ亦然リトス若

若シ時効ハ正當ナル原因ニ依リ義務已ニ消滅

シタルコトヲ証スルノ方法ニ非スニテ債權

者ノ權利行使ヲ怠リタルカ為メ時ノ經過ニ

日俾テ直接ニ義務ヲ免除スル一箇ノ方法ナリ

トセテ誠實ニシテ且名譽ヲ重ニスル債務者

ハ免免責時効ヲ援用スルコト之レ有ラサル可

生  
羅  
馬  
法  
學  
者  
時  
効  
ノ  
論  
一  
ノ  
一  
ノ  
一

往在時羅馬ノ法學者ハ時効ヲ稱シテ人類ノ保

保護者ナリト言ヘ其語ハ多少羅馬時代ニ特

別ナル意義ヲ有スルモノトスルモ其精神

ニ至テハ決シテ時効ノ制度ヲ以テ時日經過

タル侵奪者ニハ約束ヲ重ニセズ義務ヲ盡行

セテハ債務者ノ利益ノ為メニ利力ヲ供スルニ

ハ在ラサリシナリ近世明文ノ法律ヲ以テ占有

者ト債務者トヲ補助シ占有者ニシテ久シク

ク旧所有者ノ為メニ何等ノ妨害ヲ受ルコト無

ラズ又債務者ニシテ旧債權者ノ為メ久シク請

求テ度ケサルトキハ占有者ト債務者トハ共

ニ他ノ請求ヲ免ルヘキモノト定ムルモ亦單

單ニ取得或ハ免責ノ証書ヲ作ラセムルコトヲ

以懈リ又若ハ之ヲ作リタルモ後ニ至リ之ヲ失

ヒタル者ヲ保護スルニ在ルニ在リ

凡善浪ナル人ノ為メニ設ケタル法律ノ規定ハ

上善良ナラサル人ニモ利益ヲ與フコト有ル

ハ實ニ免レ難キノ數ニヒテ如何ナル事項

ニ關シテモ至善ノ法律ヲ遊シルコト能ハサル

危●險ノ一ナリトス

夫●法律ヲ以テ規定スル所アルハ皆善良ニ



夫ハ法律ヲ以テ規定スル所アルハ皆善良ニ

心實ノ人ヲ保護セシカ為メ然レトモ其規定

ヤ時トシテ不良ノ徒ヲ利スルコト或ハ之レ有

ル也可レ焉ソ之カ為メ直チニ其法律ヲ目

シテ不良ノ法ナリト謂フ可シヤ今一例ヲ擧

ゲテ之ヲ示サシニ法律カ各人ノ自由ヲ担保ス

ルハ善良ナル人ノ妄リニ之ヲ侵犯セラル

コト少ク有ラニテ慮井テ保護ヲ與ヘタルノニ然

生ルニ此自由ノ担保アルカ為メ不良ノ徒之

ヲ濫用シ時ニ善良ノ人ヲ害スルコト有ル可シ

先上未<sup>レ</sup>又此一事ヲ以テ直チニ國家ハ不良ノ徒

ノ為メニ自由ヲ担保スルモノナリト言フ可キ

此<sup>レ</sup>非<sup>レ</sup>茲ニ説明スル時効ノ制度ノ如キ亦然

リ<sup>レ</sup>日<sup>レ</sup>為<sup>レ</sup>ス

蓋時効<sup>ノ</sup>制度ハ真正ナル所有者ト真正<sup>ノ</sup>義務

ヲ<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>ス<sup>ル</sup>ナル債務者ト人安全ヲ保スルモノナ

ル<sup>レ</sup>本<sup>レ</sup>故<sup>レ</sup>法<sup>レ</sup>理<sup>レ</sup>上<sup>レ</sup>ヨリ論<sup>ス</sup>ル<sup>レ</sup>尾<sup>レ</sup>法律<sup>レ</sup>上<sup>レ</sup>ヨリ論<sup>ス</sup>

ル<sup>レ</sup>飛<sup>レ</sup>善<sup>レ</sup>良<sup>レ</sup>ナル制度ナリト斷定スルコトヲ得

可<sup>レ</sup>目<sup>レ</sup>若<sup>レ</sup>シ此制度アラサルトキハ右ニ掲<sup>ケ</sup>テ

ル<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>所有者若<sup>シ</sup>ハ旧債務者ハ所有權取得若<sup>シ</sup>

リ<sup>レ</sup>ハ債務消滅ノ新々ナル證書ヲ呈出スル能ハ

凡以所有者若ハ旧債務者ハ所有權取得若ク

リハ債務消滅ノ新々ナル證書ヲ呈出スル能ハ

テ此ノ時ニ至リ旧所有權又ハ旧債權證ヲ保

存セシ讓渡人若クハ旧債權者ハ為テ實際限

無クテ新進セテ凡テ至ル可キ者ハ新進

以上有ニ論ル所ニ依テ考テ此モ已ニ時効ハ

ノ性質ヲ研究スルハ甚ク有益ナルコト明ナリ

ト然レトモ尚ホ他ノ點ニ於テモ此問題ノ甚ク

又實益アルモナルコトヲ説明スルニ

義時効ヲ以テ一種ノ推定ナリトスル説ニ反對

スル者若クハ飽マテ論理ヲ貫キ其理論ヨリ生

ズル者若クハ飽マテ論理ヲ貫キ其理論ヨリ生

ズル者若クハ飽マテ論理ヲ貫キ其理論ヨリ生

ズル者若クハ飽マテ論理ヲ貫キ其理論ヨリ生

ズル者若クハ飽マテ論理ヲ貫キ其理論ヨリ生

ズル者若クハ飽マテ論理ヲ貫キ其理論ヨリ生

ス可キ自然ノ結果ヲ是認スルノ勇氣アリハ此

ノ監ニ於テモ亦實用上必ス右ノ問題ノ利益ヲ

ヲ觀ル可ク而シテ其斷定ノ甚ニ不當ナル却

却テ推定説ニ與スルニ一層ノ利益ヲ以テス可

キ針刺ニ關シテ其利益ノ實ニ正身ニ在リテ其

例ハ彼等ノ唱道スル所ニ依リテ時効ニ依

リテ一箇ノ不動産ヲ取得スル者ハ唯定マシ

タル古有ノ時間經過ニタル後始メテ之カ所

所有者トナル者トシテ故ニ具以前ハ不動産ヨ

ゆリ生スル果實ヲ取得スルコトヲ得ス正權

係ト善意ヲ有セザルハ少クモ最後五ヶ年

免責ナルモ	カ、為メ	シ是認スル	復シ主張スル	ノ義務アリト云フ	以論ニ依リ	負債カ利足	ノ要ス可シ	ノ果實ヲ計算スル	善意ヲ有セ	ヨリ生スル	ヨリ生スル
ノヲ案出	既往ニ	勇氣アル者	學者ハ未タ	フ下ヲ要ス	最後五	ヲ生スル	又免責時効	ノ義務アリト	セザルハ	果實ヲ取得スル	果實ヲ取得スル
シ時効カ	遡反スル	アラズ此結果	一人モ是等	ノ要ス可シ	年間ノ利息	ルモノ為ル	ヲ主張スル	ト斷定スル	モ	ト	ト
行	効力ヲ有ス	結果ヲ免	ノ結果	然レモ反對	ヲ償還スル	ハ同一ノ理	債務者ハ具	ト	最後五	ト	ト
始	取得	●	ヲ	●	●	●	●	●	●	●	●

ヨリ生スル果實ヲ取得スルニト

善意ヲ有セザルハ

果實ヲ取得スルニト

最後五

正権

ノ  
●  
タ  
ル  
月  
ニ  
遡  
リ  
テ  
効  
果  
ヲ  
生  
ス  
ル  
モ  
ノ  
ト  
為  
ル

川  
是  
レ  
全  
ク  
故  
ヲ  
ニ  
右  
ノ  
不  
都  
合  
ヲ  
避  
ク  
ル  
為  
メ  
時

時  
効  
ト  
其  
他  
ノ  
取  
得  
若  
ク  
ハ  
免  
責  
ノ  
方  
法  
ト  
ノ  
間  
ニ

(立) (設) 此  
タ  
ル  
專  
恣  
ノ  
差  
異  
ナ  
リ  
ト  
ス  
之  
ニ  
反  
シ  
テ  
若

シ  
時  
効  
力  
一  
ノ  
推  
定  
即  
チ  
取  
得  
若  
ク  
ハ  
免  
責  
ノ  
證

● 據  
十  
九  
件  
ハ  
時  
効  
ハ  
已  
ニ  
存  
在  
ス  
ル  
事  
實  
ヲ  
證

ス  
ル  
モ  
ノ  
ニ  
是  
レ  
其  
日  
附  
ハ  
實  
ニ  
時  
効  
ノ  
經  
過  
ヲ  
始

始  
メ  
タ  
ル  
ノ  
時  
ニ  
在  
ル  
日  
明  
カ  
ナ  
リ  
ト  
シ  
テ  
是  
レ  
其  
日  
附  
ハ  
實  
ニ  
時  
効  
ノ  
經  
過  
ヲ  
始

然  
レ  
ト  
雖  
モ  
尚  
ホ  
兩  
説  
相  
去  
ル  
ト  
甚  
ダ  
遠  
キ  
重  
要

十  
九  
日  
兩  
點  
アリ  
而  
シ  
テ  
是  
レ  
實  
用  
上  
此  
議  
論  
ニ

利益ヲ興フル所ナリ

ナ  
ハ  
兩  
點  
アリ  
而  
シ  
テ  
是  
レ  
實  
用  
上  
此  
議  
論  
ニ

利益ヲ與テル所ナリ

テ例ハ  
台有者カ取得時効ヲ主張シ又ハ債務

者カ免責時効ヲ主張シ而シテ之ト同時ニ

彼等ハ時ノ經過ノ外更ニ所有權又ハ免責ニ備

何等ノ正當ナル原因ヲモ有セサルヲ述ハ

ムリトセニ反對論者ノ説ニ依リハ台有者若

クハ債務者ハ此場合ニ於テモ尚ホ勝利ヲ得ハ

キ判如何トナレハ取得若クハ免責ノ方法ヲ存

存在ニ而シテ之ヲ主張シタル所ナリ吾人ノ説

ニ依リハ彼等ハ其請求又ハ抗辯ニ於テ敗訴

訴

ス可<sub>レ</sub>如何トナレハ自<sub>レ</sub>我カ主張ス<sub>レ</sub>推定ノ

ノ眞實ナ<sub>レ</sub>サルヲ述フレハナリ故ニ法文ニ掲

ク<sub>レ</sub>如ク之ヲ以テ時効ヲ拋棄ス<sub>レ</sub>モノナリ

リト着做ス可<sub>レ</sub>ニ(参考第九十五條第二項)

又免責時効ニ関<sub>レ</sub>反對論者ノ説ニ依<sub>レ</sub>モ尚

ホ<sub>レ</sub>時効カ推定ニタ<sub>レ</sub>ト認メサル<sub>レ</sub>能ハサ

サル或<sub>レ</sub>場合アリ即チ短期時効ト称ス<sub>レ</sub>五

今年以下ノ時効ノ場合是<sub>レ</sub>ナリ蓋<sub>シ</sub>此種ノ場

合<sub>ハ</sub>於<sub>テ</sub>債務者時効ヲ援用<sub>シ</sub>而<sub>シ</sub>テ未<sub>ダ</sub>義

務ノ弁済ヲ爲サ<sub>レ</sub>ト<sub>シ</sub>テ自白ス<sub>レ</sub>トキハ

債務者ノ時効ノ利益ヲ受クルコト能ハ<sub>ス</sub>

ハ債務者ノ時効ノ利益ヲ受クルコト能ハ<sub>ス</sub>



ト	直	此	日	ノ	其	●	二	ル
ス	直	此	時	力	其	ハ	於	モ
ル	接	問	間	カ	性	其	テ	ト
此	、	題	、	長	質	時	モ	ス
取	モ	、	短	期	二	間	亦	参
得	ノ	実	キ	ノ	至	二	争	者
若	ト	益	カ	時	リ	於	ハ	才
ク	シ	ア	為	効	テ	テ	サ	百
ハ	本	ル	メ	二	ハ	短	ル	六
免	法	才	十	比	更	期	取	十
責	二	二	リ	二	二	ノ	リ	一
、	於	、	、	テ	差	モ	リ	条
性	テ	點	、	弱	異	ノ	然	而
質	單	ハ	、	キ	ア	ト	ル	二
カ	二	反	、	モ	ラ	異	二	テ
有	推	討	、	ノ	ス	十	長	及
價	定	論	二	ハ	唯	リ	期	討
ナ	十	二	於	全	推	タ	ノ	論
ル	リ	於	テ	ク	定	ル	時	効
ヤ	ハ	テ		其	、	モ		

債務、并済う為サ、ル  
 債務者、時効ノ利益ヲ受クル  
 自白スルトキハ

又將タ無償ナルヤヲ知ルニ在リ

凡有償、買為ト無償、所為トヲ區別スルハ法

法律上種々ノ適用ヲ為スニ甚タ重要ナルト云

今特ニ弁明ヲ要セサル買ナリ

今之ヲ例スルニ有償、所為ハ概シテ一般普通

ノ能ハカヲ要スルノニナレ氏無償、買為ニ至

リテハ之ニ比シテ更ニ大ニシテ且稀ナル能

力ヲ要シ此能力ハ或ハ絶對ナルヲ要シ即チ

一般ノ享益者對シテ之ヲ有スルヲ要スル

ト有リ或ハ關係ナルヲ要シ即チ贈與者ニ此能

力ノナキハ贈與ノ利益ヲ受クル能ハサル

取	ノ	ヲ	カ	ル	ナ	ル	以	或	力
得	報	主	カ	ル	ル	主	或	或	力
君	酬	張	取	ヲ	ヤ	タ	=	ル	ナ
ク	ラ	シ	得	解	ヤ	ル	掲	特	キ
ハ	モ	且	君	セ	将	差	ク	別	ハ
免	供	勝	ク	シ	タ	異	ル	ノ	贈
責	給	ヲ	ハ	ム	無	ハ	如	人	與
シ	セ	得	免	ル	償	以	キ	=	與
タ	サ	ル	責	=	ナ	テ	兩	対	ノ
ル	ル	モ	ノ	足	ル	直	種	シ	利
ト	カ	ハ	直	ル	ヤ	々	ノ	テ	益
明	故	ハ	接	可	ヲ	=	買	之	ヲ
カ	=	之	方	シ	知	時	為	ヲ	受
ナ	全	=	法	而	ル	効	ノ	要	ク
リ	タ	対	十	シ	ノ	ノ	効	ス	ル
華	無	ス	ル	テ	大	性	果	ル	能
シ	償	ル	ハ	若	=	償	=	可	能
之	=	何	ハ	シ	実	有	南	有	ハ
=	テ	ホ	之	時	益	價	ス	リ	サ
反	取	●	之	効	ア	●	●	●	ル

有  
 一  
 種  
 之  
 利  
 益  
 受  
 ク  
 ル  
 能  
 ハ  
 サ  
 ル

及ニテ時効ハ取得若クハ免責ノ推定ニ過キカ

ヨラニカ推定セラレタル取得若クハ免責ハ必

スヤ有償ノモノタル可シ如何トナレハ唯~~有~~有償

ナルモノハ普通ナルカ故ニ實際ノ所為ヲ知ル

只能ニナル以上ハ此普通ノモノヲ推定ス可キ

コトト当然ナリヤ果~~ハ~~後大~~ニ~~是~~ハ~~

尚ホ最後ニ注意ス可キモ有リ即チ時効ノ

以テ法律上ノ條件中明カニ時間ヲ加ヘタル~~ハ~~是

是レナリ蓋シ之ヲ極論セハ法律ニ依リテ特ニ

定メタル或ル條件具ハル~~ハ~~推定アリト云

止~~ル~~ルヲ得ハニ然リト~~ハ~~氏時効ニ~~ハ~~

ノ	●	◎	然	シ	ノ	ル	●	シ	フ
●	善	ヲ	●	ヲ	如	ト	ヲ	テ	●
為	意	掲	リ	明	ク	時	ハ	直	止
メ	ヲ	ク	ト	記	ナ	ノ	テ	々	ル
=	以	ル	魚	セ	ル	ヲ	テ	=	ヲ
時	テ	ハ	ス	リ	テ	助	羅	時	得
効	有	其	斯		以	ナ	馬	間	ハ
シ	形	弊	ノ		テ	ル	人	ノ	シ
適	動	ナ	如		本	諾	ノ	観	遊
用	産	キ	ク		法	ヲ	ノ	念	リ
ス	ヲ	=	時		=	以	如	ヲ	ト
是	占	非	効		於	テ	キ	生	魚
レ	有	ス	ノ		テ	ス	ハ	セ	氏
時	ス	本	原		之	ル	或	シ	時
効	ル	法	素		ヲ	=	ハ	ム	効
ノ	モ	=	ト		一	至	時	ル	知
適	ノ	於	レ		條	レ	効	ハ	=
用	ノ	テ	ヲ		件	リ	ニ	ノ	知
ノ	利	モ	時		ト	此	付	自	ノ
頭	益	ハ	間		●	ク	マ	然	ノ

定  
メ  
タル  
或  
ル  
條  
件  
具  
ハ  
ル  
中  
ハ  
推  
定  
ア  
リ  
ト  
云

著 著 著 ナルモナリ然ルニ此時効ニ関シテハ更

うニ何等ノ時間ヲ要スルヲ無ク此時効ハ全

ク即時ノモリ故ニ此時効ノ為ニハ明

力ニ時ノ條件ニ關シ例外ヲ設ケサル可カラス

而シテ本條ハ此種ノ時効ヲ規定スル才百四

十一条以下ニ之ヲ讓レリ

此即時時効ナル名稱ハ外國ノ法律ニ於テ多

少ノ批雜ヲ受クルトアリト雖モ本法ニ於

テハ將來迄ニテ争ヲ生ルト莫カル可ニ要ス

實ルニ本法ハ既ニ實際ニ於テ慣用スル所ヲ法

文 中ニ明記セラルニ過キヌ故ニ據テハ

要ルニ本法ハ既ニ實際ニ於テ慣用スル所ヲ法

文●中ニ日記セルニ過キニ當リ

百四十一條ノ下ニ至ラ其ノ理由ヲ説明スヘシ

第九十條時効ハ才七十六條ニ掲ケタル公益

ニ●関スル完全ナル法律上ノ推定ノ列記中ニ

ニ之ヲ加フルル必要ナリシカ故ニ其才ニ●外

七リ然レ氏是レ致シラ時効ノ事ヲ規定スル

ニ當リテ時効ノ三箇ノ性質ヲ再説セスレテ可

●ナルノ理由由タラス又況ニヤ時効ニ対シテ●

ハ例外トシテ西箇ノ反証ヲ為スラ得ルヲ豫

シメ掲示スヘキ適者ノ場合ナルニ於テラヤ

本條規定其主トスル所實ニ前既ニ於テ

テ指示セル所箇ノ反証ニアリ故ニ法文ニ掲ケ

タル如ク其説明ハ才九十六條及ヒ才百六十

一條ニ至リテ之ヲ為スベシ

前番人カ駁撃ニタル反対説ニ在ラヤ時効ノ遡

及及ノ効カハ甚ク不正ノモノナレ氏本法ノ如

ク時効ヲ以テ一ノ推定ナリトスルハ至当

ノモノナリ推定ハ証概ナルカ故ニ新ナル權

月利ヲ生セシムルモノニ非ス只徒前成立スル

ル權利ヲ證明スルニ過キス而シテ此權利ハ

時効カ進行ヲ始メタル所ニ於テ成立スルモノ

ニ於テ成立スルモノ



ル權利ヲ証明スルニ過キス而シテ此權利ハ

幼カ進行ヲ始メタル所ニ於テ成立スルモノ

ト認メラルベク当然ナリ推定ハ此時ニ萌芽

ヲ祭シ而シテ時ハ只之ニ與ラズ裁判上ハ

完全ナル証據ト爲ルニ必要ナル祭達ヲ以テ

スルニ過キスト云フヲ得ヘシ但西箇ノ例外

ノ場合ハ此限ニ在ラストス

本法文ノ定ムル所ニ依ルテ取得時効ニ関スル

ハ取得時効ノ場合ニ於テハ其取得ハ有益ナル

ル占有ノ始メタル時ニ在リトス免責時効

差元来占有ナレモノ有ルヲ得ヘカラス唯續

債権者カ請求ヲ為サ、ルノ一事アルノ三故

ニ此時効ニ関シテ債権者カ請求ニ得ハクニテ

而シテ之ヲ為サス随テ辨済ヲ受ケタルモ

ノトノ推定ヲ生セシムルニ至リニ時ニ在テ

免責アルモトス

惑外國ノ法律ニ於テハ或ル訴権ノ行使ニ関シ

テ法律カ定メタル期限ノ全ク純然タル時効ナ

リ●ヤ将ク單ニ一定ノ期限即ケ失権ノ期限

タルヤハ屢々議論アル所ナリ此問題ハ実用甚

大ナリトス如何トナシハ君ニ是レノ期限

ニシテ大ナリトス如何トナシハ君ニ是レノ期限



◎期限、三ニ非ス

此故ニ之ニ對シテ為シ得ヘキ唯一ノ非難ハ

右在<sup>三</sup>者中ノ才一才ニカ嚴ニ過キ而シテ合意

ニ・因リ延ハス下ヲ得ヘカラサル、一点ニ在

ル可シ然リト至他ノ時効ノ期限ニ至テ

モ利害関係人ノ任意ヲ以テ之ヲ延ハスコト

ヲ得ル如キハ其理由ヲ説明ス

能ハサル果ナリ

此上ニ速ル如クナルニ依ル此等ノ訴権ノ期限

リ之ヲ時効ト看做シ而シテ時効一般ノ規則

ニ從フモノトス然リト多ク法律カ明示ス

ハ、之、時効ト看做ニ而シテ時効一般ノ規則

ハ、之、時効ト看做ニ而シテ時効一般ノ規則

少、一、點、示、ラ、以、テ、右、ノ、規、則、ニ、對、シ、例、外、ヲ、設、ケ、タ、

此、點、特、ニ、之、ヲ、注、意、ヲ、為、ス、ヘ、シ、受、戻、訴、權、ノ、時、

時、効、ニ、關、シ、テ、ハ、點、示、ノ、例、外、アリ、買、主、ニ、對、シ、テ、

テ、行、フ、可、キ、此、訴、權、ハ、全、ク、物、上、訴、權、ニ、屬、ス、而、シ、

テ、此、訴、權、時、効、ニ、到、リ、タ、ル、ハ、所、有、權、確、定、

セ、リ、ト、云、フ、ヲ、得、ヘ、シ、然、リ、ト、雖、モ、賣、主、ノ、訴、權、ニ、

對、シ、時、効、ヲ、得、ル、ニ、ハ、買、主、カ、安、全、ニ、又、公、ニ、且、

ツ、取、得、時、効、ニ、必、要、ナ、ル、他、ノ、諸、條、件、ヲ、具、ヘ、テ、物、

件、ヲ、占、有、シ、タ、ル、ヲ、必、要、ト、セ、ス

要スルニ受戻訴権ハ中性ノモ、タリ乃ク

同時ニ物上及ヒ对人ノ訴権アリ而シテ他ノ対

人ノ訴権ノ場合ニ於ケルト等ニク占有、如

何ヲ問ハス被告人ノ唯定ニリタル期限間原告

此訴権ヲ行使セザリシヲ申立ワルニ

止マラルヲ得ルハ蓋シ此訴権カ对人ノ性質ア

ルヲ以テナリ

又ハ裁判ニ対シスル上訴ノ期間ノ如キ訴訟年

統上ノ總テノ期間一之ヲ一定ノ期間ト看做

付キ何等ノ批難アル可ラサル

本條ニ記セルカ如ク唯之ヲ一般通則ニ視

本條ニ付キ何等ノ批難アル可ラサルニ於テ

ハシムルニ過キサル場合ト雖モ法律ノ時

●効ノ理論ヲ十分ニ明カナラシムルヲ力ム

ル所以ノモノハ蓋シ時効ハ他ニ比シテ大ニ異

ナリタルニ一種ノ請求ナル又ハ抗弁ノ方法ナ

シハナリ故ニ時効ハ取得ト免責トニ論ナリ

ク一個人又ハ國若クハ行政權ノ代表者等一切

又ノ人之ヲ援用スルヲ得

又何人ニ對スルモ之ヲ援用スルヲ得然リ

トモ此原則ニハ例外アリ是レ法律ノ已ニ

目 指 示 スル 取 ナリ 即チ 時 効 ハ 或ル 種 類 ノ 人

ノ 利 益 ニ 於テ 停 止 スル 之ヲ 詳 言 スルニ 或ル 種 類

ノ 人 ニ 屬 スル 權 利 ハ 其 自 由ニ 之ヲ 行フ 能

ハ 廿 廿 地 位ニ 在ル 間ハ 此 推 定 効 力ヲ 蒙ル 也

ト 無シ

本條 此ニ 規 定 スル 所ハ 物 件ニ 関スル 時 効ノ 適 用

ニ 於テ 人ニ 関スル 適 用ニ 非ス

夫 時 効ハ 取 得ノ 方 法タルモ 又 單ニ 取 得ノ 法 律

上 且、 推 定タルモ 取 得スル 下ヲ 得ハキ 一 切

ノ 物 件ニ 適 用ス可キ 下ハ 勿 論ナリ 然リト 雖 也

民法 律中 此 原 則ニ 對シ 何 外ニ 下ヲ 得ハキ 一 切



ノ物件ニ適用ス可キハ勿論ナリ然レトモ、  
法律中此原則ニ對シテ何外アルヤ  
ハク本

法律ニ於テモ亦之ノ規定セリ已ニ財產編才

●二十八條ニ於テ時効ニ罹ルコトヲ得サレ物

フ九ノコトヲ示シ同編才五百五十九條ハ或

ル錯誤、釐正ヲ目的トスル訴權ニ此性質ヲ附

立シテハ、  
本條ニ於テ融通ニ得ヘカラサレ物及

七、日讓渡スコトヲ得サレ物ヲ以テ時効ニ罹ル

コトヲ得サレモノトセリ蓋シ已ニ讓與ノ目

的ト為ルコトヲ得サレモノトセリ蓋シ已ニ讓與ノ目的ト

的ト為ルコトヲ得サレモノトセリ蓋シ已ニ讓與ノ目的ト

● 為リタリト推定ニ得ヘカラサルコト勿論ナ

● 八ナリ

又々公有ノ財産ハ縦令動産ト雖氏之ヲ時効ニ

ニ罹ルコトヲ得サルモト明定セリ蓋シ公有物

ハ不融通物ナルカ故ニ時効ニ罹ラサルコト

ハ特ニ之ヲ明記スルヲ要セズト雖氏動産ノ

即時時効ノ屢一般ノ原則ト異ルアルカ為

シ或ハ疑義ヲ生セズトヲ恐ル特ニ此明文

ヲ設ケタルモナリ

物件ノ時効ヲ得ヘキト否トニ関スル此規定

ハ主トシテ取得時効ヲ云フモノナリ然レ

物件ノ時効ヲ得ハキト否トニ関スル此規定

ハノモトニテ取得時効ヲ云フモノナリ然レド

モ免責時効ニ至リテモ并添又ハ合意上ノ免

除ニ依ルモ消滅セザル性質同義務場合

ニ於テハ此規定ノ適用ヲ見ルハ此ノ如キ場

合ニ於テハ時効力ヲ以テ右ニ掲クテ消滅

方市法ノ一者ニ依リ正當ノ消滅アリシテヲ推

め定スルハ契ニテ為シ得ハキノ下ニ非ス又反

對稱説ニ依リ時効ノ以テ義務ノ消滅

ヲ認ムルハ益其當ヲ得タルモノニ非ス而シテ

テ合意上ノ免除又ハ并添ヲ以テ消滅シ得ハキ

力ヲサレ義務ノ例トシテハ養料ノ義務ヲ示ス

スエトヲ得ヘシ故ニ債権者ハ弁済又ハ免除

ノ推定ニ依テ養料ノ權ヲ失フコト無ク債務者

ハ之ニ依テ此義務ヲ免ルコトヲ得サレ可シ

本條ニ於ケル困難ニ法律上ノ權能ノ性質

ヲ明確ニシ而シテ純然タル權利ト混同セシ

メサレニ在リ權能ハ凡語ハ已ニ財產編才三百

百三十九條ニ之ヲ掲ケ而シテ同條ニ於テ權能

ハ權利ト同一ナラス權利ヲ行フコトヲ免ル

トハ必ス其損失ヲ免レズ之ニ反シテ權能ノ利

ハ免ケントセム多クノ出捐ヲ要スルコトヲ注

士ハ必ス其損失ヲ免レヌ之ニ反シテ權能ノ利

ハ必ス其損失ヲ免レヌ之ニ反シテ權能ノ利

○意ニタリ是レ則テ債權者ハ其擔保タル債務

者權利ヲ行フテ得ルニ單純ノ權能ニ至

リリテハ一ニ債務者ノ取捨採択ニ專屬スルモ

以テニテ債權者直ニ之ヲ行フテ得ル

フテ解説スルノ理由ト為シタル所ナリ而シ

テ此區別ハ又以テ本條ノ解説ヲ容易ナラシ

リルヲ得ヘシ

此故ニ債權者ハ其債務者ノ有スル地上ニ建築

等ヲ為スヲ得ヌ又隣人ヨリ牆壁ノ互有權ヲ買

取

●得スルカ如キハ輕易ノ權能ナルカ故ニ債權

者ハ債務者ニ代リテ之ヲ為スルヲ得ルト

同書ニク三十年ノ間自己ノ所有地ニ建築ヲ為

シ又ハ互有權ノ買得ヲ為スルヲ總タ制ニ

所有者ノ之カ為メニ三十年ノ不使用ニ代リ右

右ハ權能消滅シタリトノ理由ヲ以テ隣人ヨリ

リ時効ヲ援用セラルルニ無カルヘシ

之ニ反シテ君ニ所有者カ隣地ニ通行地

役權ヲ有シ而シテ三十年ノ間之ヲ使用スル

●無カリシトキハ承役地ノ免責時効トモ稱ス

後可キ不使用ニ因リテ其權利ヲ失フ可シ

● 魚カ... 承後地ノ免責時効ト云稱也  
● 可キ不依用ニ因リテ其權利ヲ失フ可シ  
● 卷第...

● 財産編 才三 百九十一 条

法 律 上 ノ 権 能 ノ 時 効 ニ 罹 ラ サ ル 下 ラ 解 説 ス

ル 簡 明 ナ 且 正 確 ナ 理 由 ニ 従 来 学 者

等 カ 輕 々 ニ 付 シ 去 リ タ ル 買 ノ 人 ア リ 即 チ

此 等 ノ 権 能 ノ 殆 ロ 上 其 殆 ロ 其 時 々 ニ 新 生 ス

ト 稱 ス ル ヲ 得 可 キ 下 是 ニ ナ リ 元 来 此 権 能 ヲ

ル 其 原 因 對シテ 恒 久 ノ 地 位 上 等 シ 夕 更 ニ 期 限 ア

ル 非 ス 故 ニ 又 時 ノ 効 果 ニ 依 リ 下 喪 失

也 律 上 可 下 非 非 サ ル 十 リ

法律者  
人十分ノ注意ヲ為シ法律ノ規定當事者

ノ合意又ハ遺言ニ依リテ或ル法律上ノ權能

ニ附スルニ一定ノ期間ニ行用ス可キノ條件

ヲ以テシタル場合ヲ例外トセリ此場合ニ

ハ右ノ如キ權能ハ之カ使用ヲ為サズニ此期

期限ヲ經過シタル一事ヲ以テ消滅ス可ク即

時効ニ罹ル可シ之ヲ例スルニ買戻權能ノ如

キ是ナリ

時効ヲ以テ取得又ハ免責ノ直接方法ナリト

ト看做ス説ニ從ハハ判事ハ職權ヲ以テ時効ヨ

リ生ル方法ヲ補充スルヲ得ストスルノ承法



箇	抗	の	直	若	易	不	七	採
ノ	弁	ノ	接	難	易	不	時	用
場	ノ	受	証	ニ	ナ	ト	知	セ
合	方	取	拠	取	リ	ス	ヲ	ル
ニ	法	証	ヲ	戻	ハ	ル	以	学
於	ヲ	ヲ	登	ノ	ハ	ハ	テ	説
テ	援	祭	見	訴	此	禁	取	ニ
請	用	見	ニ	訟	止	ヲ	得	於
求	セ	セ	或	中	ヲ	解	或	テ
ヲ	ル	カ	ハ	ニ	解	説	ハ	ル
作	キ	凝	対	於	説	ス	免	ト
ク	ト	令	人	テ	ス	ル	責	同
ル	蚤	被	訴	裁	ニ	三	ノ	一
ヲ	モ	告	訟	判	ト	ト	推	ナ
得	裁	ニ	中	所	更	ニ	定	リ
ハ	判	於	ニ	カ	ニ	過	ニ	ト
シ	取	テ	於	取	ハ	キ	雖	本
元	ハ	此	テ	得	直		對	法
来	兩	抗	弁	ハ				

卜看做入説ニ從ハ判事ハ職權ヲ以テ時効ヨ

未請未ナキ物件上ニ判決ヲ與フルハ裁判不

為之能ハサル所ナリト雖氏是受シテ請求

ナキ取ニ判決ヲ與フルニ非ス如何トナレハ

苟モ被告ニ於テ自己ニ對スル請求ヲ拒ム以上

ハ●是レ即チ法律ノ許セル一切ノ方法ニ依リ

リテ請求ノ排斥ヲ求ムルモノナレハナリ

若シ被告ニシテ取得若クハ免責時効ノ利益

ヲ受ク可キ場合ニ在テハ何カ故ニ斯ル如クナ

ラズト云フ可キヤ

●對本法ノ規定ト反對スル者ノ一般ニ此

問題ニ答フル所ハ唯此取得又ハ免責ノ方法ハ

本法ノ規定ト反対スル者ノ一般ニ此

問題ニ答ナル所ハ唯此取得又ハ免責ノ方法ハ

ハ或ハ占有者又ハ債務者ノ良心ニ快シトセサ

ルル有リ裁判所ノ一意ヲ以テ彼等所付莫又

ルニ彼レカ自ラ援用スル下ヲ欲セサル利益

ヲ以テス可カラスト云フニ在リ然レ何何

力故ニ被告ハ自己ノ利益ニ法律カ定メタ

ル此取得者ハ免責ノ方法ヲ斯ノ如ク嫌忌ス

ル也又且被告ハ斯ク嫌忌スルモノナリ

ト法律カ推測スルハ果シテ何レノ理ニ基クカ

の柳法律ハ自ラ定メタル規定ノ公義ニ合シ且

又當リ得タルヲ確信スルヲ能ハサレヤ

之ニ及シテ時効ヲ以テ單ニ一箇ノ推定ニ過

キトスル吾人ノ説ニ從フハ右ノ如ク法

律ニ定メタルハ至當ニシテ而シテ自然ノモ

ノタルヲ實ニ明カナリ夫レ一箇ノ推定ハ欲

ク其効如何ニ強キモ尚ホ推定ナリ推論ナリ

リ而シテ法律カ一箇ノ特別ノ事情ヨリシテ一

箇ノ推理推定ヲ為ス時ニ法律ハ之ニ附スル

ニ特定ノ條件ヲ以テスルヲ得ルハ当然ニシ

テ且實ニ其宜キヲ得ルモノト云フ可シ既ニ

前段ニ於テ說明シタル如ク配得時効ニ在テ

且実ニ其宜キヲ得ルモノト云フ可シ既ニ

前段ニ於テ説明シタル如ク取得時効ニ在テ

ハ被<sub>レ</sub>告カ係争物件ヲ占有セタルヲ以テ必

須<sub>レ</sub>ノ條件トス而シテ此占有ハ数箇ノ資格ヲ

具備スルヲ要ス其数箇ノ資格ノ何タルカ

ハ後ニ至リテ之ヲ説カレ<sub>ル</sub>才百三十八条以下参看

且<sub>レ</sub>或ル時間ヲ以テ此條件ノ一トス又免責時

日効ニ至テハ固ヨリ占有ノ問題アル可キニ非

ラス然リト虽モ尚ホ債権者カ法律上權利ヲ行

便<sub>レ</sub>得<sub>ル</sub>ヘキ時ヨリ起算シ一定ノ年限間之ヲ行

便<sub>レ</sub>サリシ<sub>レ</sub>ヲ要ス<sub>ル</sub>才百五十條以下参看

夫然リ既ニ斯ノ如クハ法律カ此兩種ノ

ノ時効ニ通シテ尚ホ一箇ノ條件ヲ必要ナリト

スルハ吾人カ既ニ述ヘタル如ク至当ニシテ

自自然ナルニ非スヤ其條件トハ何ソヤ曰ク此

ノ時効カ其利益ヲ受ク可キ人ニ依リテ援用セ

ラズ一ト是ナリ自己ノ陳述ニ在リテ被告人

カ法律上ノ推定ノ確定ナルヲ確ムルハ至当

ノハ非スヤ且夫レ被告自ラ裁判所ヲ助ケ

テ取得又ハ免責時効ノ法律上ノ諸條件總テ

具備スルヲ明カニスルニ非スハ裁判員

ハ得リ確カニ之ヲ知ルヲ得ンヤ

心	テ	シ	●	ハ	ウ	カ	ル	然
理由	述	既	スル	ハ	レ	蓋	完	レト
モ	ハ	判	既	ル	タ	ニ	全	モ
亦	タ	事	ハ	ハ	ル	時	ナ	此
全	ル	物	制	亦	時	効	ル	断
ク	所	=	限	唯	=	カ	推	定
同	ト	附	ヲ	此	在	此	定	テ
一	同	セ	附	時	リ	性	テ	以
ナ	一	ラ	ス	=	裁	質	テ	テ
リ	ハ	レ	ル	在	判	ヲ	ト	法
才	断	タ	ハ	リ	灭	有	不	律
八	定	ル	格	但	カ	ス	盾	カ
十	=	推	別	下	之	ル	ス	時
条	ニ	定	ナ	段	ヲ	ハ	ト	効
参	テ	=	リ	=	容	唯	云	=
看	テ	関	ト	速	レ	其	フ	附
	テ	ニ	ス	ヘ	サ	援	下	ニ
	テ	テ	且	レ	ル	用	勿	夕
	其	曾	是	ト	能	セ		

具備スル  
 一ツ  
 明カニスル  
 ニ  
 非ス  
 ニ  
 ハ  
 裁判  
 既

本全才二項ハ其断定最モ時効ノ性復ノ誤論

ニ利益ヲ附スル一箇ノ問題ヲ決定セルモ

ノナリ此問題ハ既ニ本條ニ先チテ諸論中ニ之

レヲ掲ケ且之ヲ変スルノ必要ヲ感ニタリ故

ニ今ハ更ニ之ヲ詳説スルヲ無ク唯教言ヲ記ス

ルニ止マレテ得ヘシ

被~~殺~~告人ニ於テ時効ヲ援用スルモ之ト同時ニ

ニ取得又ハ免責ノ法律上ノ方法ニ依リテ取得

若クハ免責ニタレバ無キヲ認ムル由ト雖モ

モ尚ホ其時効ヲ援用ニ其利益ヲ受クルヲ許

ス可キヤ



モ尚ホ其時効ヲ援用ニ其利益ヲ受クルヲ許

彼ノ時効ヲ以テ取得スル免責ノ法律上ノ方

法ナリトスルハ説ニ於テハ固ヨリ被告ノ利

利益ニ決ス可ク乃チ然リト答ヘザル可カラズ

然リト雖モ之ニ及ズル説ニ從ヒ即チ本法

ノ採用スル理論ニ依レズ斯ノ如ク時効ヲシテ

其眞性質上不義ニシテ効果上非理ナラシメ且

之ヲ援唱スル者ノ不名譽ヲシム可キ結果

ハ之ヲ排斥セザル可カラズ

法減ズルハ明ニ自ラ時効適用ノ條件以外ニ在ル

つた  
ラ  
認  
メ  
タル  
者  
ニ  
時  
効  
ノ  
利  
益  
ヲ  
失  
フ  
ル  
外

ヲ  
拒  
メ  
リ  
蓋  
シ  
法  
律  
ハ  
其  
陳  
述  
ヲ  
以  
テ  
時  
効  
ノ  
抛  
棄

ト  
モ  
看  
做  
セ  
リ

且  
且  
法  
律  
ガ  
斯  
ノ  
如  
ク  
規  
定  
ヲ  
為  
ス  
モ  
之  
ヲ  
以  
テ  
直

ク  
ニ  
時  
効  
ヲ  
援  
用  
ス  
ル  
被  
告  
ハ  
其  
取  
得  
又  
ハ  
免  
責

以  
ノ  
実  
際  
ヲ  
弁  
明  
ス  
可  
キ  
ヲ  
請  
求  
セ  
ラ  
レ  
得  
ヘ  
シ

ト  
モ  
ノ  
断  
定  
ヲ  
為  
ス  
可  
カ  
ラ  
ス  
又  
此  
點  
ニ  
関  
シ  
テ  
自

自  
白  
ヲ  
為  
サ  
シ  
ム  
ル  
ヲ  
目  
的  
ト  
シ  
被  
告  
人  
ノ  
事  
実  
記

ノ  
問  
ヲ  
為  
ス  
ヲ  
得  
ヘ  
シ  
ト  
断  
定  
ス  
可  
キ  
ニ  
非  
ス  
此

及  
証  
ヲ  
誘  
致  
ス  
ル  
ハ  
唯  
短  
期  
時  
効  
ニ  
對  
シ  
テ  
ノ  
ニ  
為

ト  
モ  
ノ  
種  
ハ  
キ  
既  
才  
百  
六  
十  
一  
条  
參  
照  
シ  
テ  
其  
他

及証ヲ誘致スルハ唯短期時効ニ対シテノニ為

ノ場合ニ於テ自白ハ必ス任意ナルヲ要スル

此場合ニ於テ一ノ重要ナル注意ヲ為スヲ要

ス又時効ハ通常既判カト同シク被告ヨリ援用

セラルヘシト虽氏原告モ亦等シク之ヲ援用

シ得ヘキト是ナリ而シテ此事ハ二箇ノ適用

ヲ見ルヘシ

等例ハ取  
得時効ニ必要ナル条件ヲ備ヘタ

ル占有者カ後ニ至リ占有ヲ失ヒタルハ現在

ノ	●	占有者ニ	対	シ	時効	ノ	理由	ト	シ	テ	物件	ノ	取						
日	戻	ヲ	為	ス	エ	ト	ヲ	得	ヘ	ク	而	シ	テ	其	占有者	ノ	力	原	
原	取	有	者	タル	ト	才	三	者	タル	ト	ヲ	問	ハ	サ	ル	ナ	リ		
又	又	債	務	者	カ	担	保	ト	シ	テ	抵	当	ヲ	典	ハ	タル	場	合	
ニ	ト	於	テ	免	責	時	効	成	就	シ	タ	ル	ナ	キ	ハ	抵	当	ノ	登
●	託	託	託	託	託	託	託	託	託	託	託	託	託	託	託	託	託	託	
●	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	
●	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依	
●	請	請	請	請	請	請	請	請	請	請	請	請	請	請	請	請	請	請	
●	消	消	消	消	消	消	消	消	消	消	消	消	消	消	消	消	消	消	
●	証	証	証	証	証	証	証	証	証	証	証	証	証	証	証	証	証	証	
●	得	得	得	得	得	得	得	得	得	得	得	得	得	得	得	得	得	得	
●	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	先	
●	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	
●	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	異	
●	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	

第九十七條 判事ハ職權ヲ以テ時効ヨリ生ス

ルル方該ヲ神免スルヲ得ニヤ録ニ之ヲ根據ト

ルル方注ラ補免スルラ得スル之ヲ根拠ト

トシラ時効ハ其利益ニ成就シタル人ノ一身

ノニ附着セル利益ナリト言フ可カラズ時効

ハハ利害関係人ノ資産ハ一分ヲ為シ即チ其有

スル他ノ權利ニ附着シ之ヲ完全ナラシム

ル金銀上ノ利益ヲ有ス然ラハ則チ時効ハ此資

産上ニ權利ヲ有シ之ヨリ生スル權利ヲ有ス

ル者ニ於テ之ヲ援用スルヲ得ヘキヤ明カ

ナリ

其算才一ニ数ノ可キハ相續人及ヒ其包括承継

人  
被  
告  
人  
、  
死  
後  
之  
ヲ  
代  
表  
ス  
ル  
人  
ト  
シ  
テ  
被  
告  
人  
ノ  
死  
後  
之  
ヲ  
代  
表  
ス  
ル  
人  
ト  
シ

リ  
此  
承  
継  
人  
等  
ハ  
固  
ヨ  
リ  
兩  
種  
ノ  
時  
効  
ヲ  
援  
用  
ス  
ル  
ヲ  
得  
ヘ  
シ

第  
二  
指  
ヲ  
屈  
ス  
可  
キ  
ハ  
被  
告  
人  
ノ  
特  
定  
承  
継  
人  
ト  
シ  
テ  
被  
告  
人  
ヨ  
リ  
時  
効  
ノ  
目  
的  
ト  
ナ  
リ  
居  
ル  
物  
件

即  
チ  
被  
告  
人  
ヨ  
リ  
時  
効  
ノ  
目  
的  
ト  
ナ  
リ  
居  
ル  
物  
件

ノ  
占  
有  
ヲ  
得  
又  
ハ  
其  
物  
件  
上  
ニ  
權  
利  
ヲ  
得  
タ  
ル  
者  
是  
ノ  
リ  
之  
ヲ  
例  
セ  
レ  
ニ  
被  
告  
人  
ヨ  
リ  
其  
所  
有  
權  
ヲ

ク  
シ  
テ  
占  
有  
シ  
タ  
ル  
物  
件  
ヲ  
買  
受  
ケ  
又  
ハ  
其  
贈  
與

物  
ヲ  
受  
ケ  
或  
ハ  
其  
物  
件  
上  
ニ  
抵  
当  
ヲ  
得  
タ  
ル  
モ

如  
シ  
彼  
ホ  
ハ  
常  
ニ  
取  
得  
時  
効  
ヲ  
援  
用  
ス  
ル  
ニ  
止

可  
シ  
然  
リ  
ト  
モ  
出  
ホ  
不  
利  
益  
ナ  
ル  
順  
位  
ニ

ノ  
如  
シ  
彼  
ホ  
ハ  
常  
ニ  
取  
得  
時  
効  
ヲ  
援  
用  
ス  
ル  
ニ  
止

可  
シ  
然  
リ  
ト  
モ  
出  
ホ  
不  
利  
益  
ナ  
ル  
順  
位  
ニ

ノ、如シ彼ホ人常ニ取得時効ヲ援用スルニ止

百ニル可シ然リト雖モ尚ホ不利益ナル順位ニ

在ル抵當債権者ハ自己ノ債権ニ比シテ優先

セテ可キ抵当又ル債権ニ対シ免責時効

ヲ利唱スルヲ得ルニ同ノ大下大

第ニ普通ノ債権者ヲ指示スルヲ得

即チ財産編才三百三十九条ニ掲ケタル或

ル條件ヲ具フルニ被<sub>レ</sub>告人ノ之ヲ行ハザル

キ進テ其權利ヲ行フヲ得ハ是レ本条ノ明文

ニ於テ已知ルヲ得ハナク故ニ此債権

権者ハ兩種ノ時効ヲ援用シ得ルヲ自明ナ

リ

訴諭訟、如何ナル時ニテ時効ヲ援用シ得ル

ヤヲ指示スルニ必要ナリトス其目的ハ主トシ

テ時効ハ上告ニ於テ援用セラル、能ハサル

コトヲ明ニスルニ在リ而シテ時効ヲ以テ取得

又及ハ免責ノ直接方法トスルモ或ハ他ハ正當

十九原因ヲ有スル取得又ハ免責ノ推定ナ

リトスルモ此断定ハ同一ナサル可カラス如

何トナレハ何レハ場合於テモ時効ノモ

タ外ニ全ク事實ニ基クモノニシテ凡テ事實

ハ唯始審又ハ和訴ノ裁判所ニ於テ、ミ之ヲ申

並ニテ之ヲ争フヲ得ハク英ニテ單ニ法律矣



ハ唯始審又ハ和訴ノ裁判所ニ於テハ之ヲ申

並ニ之ヲ争フヲ得ハク然レテ畢ニ法律矣

ハ裁判ヲ為ス上告審ニ於テ然ルヲ得スキハ非

サハハナリキリヤ否討問銀時効又ハ

然然リトモ是レ上告裁判取ハ決レテ時効ニ

ニ関スル問題ヲ判定スルト無レト云フニ非

ス否ナ斯人如キハ屢ニ之レ有ル可キナリ夫

●レ時効援用セラレ其基礎タル事實カ法廷

ニ於テ認定セラレ更ニ争フ能ハサルモノト

ナリレ後当事者ハ互ニ此事実カ時効ニ関ス

ル法律上ノ要件ヲ備具スルヤ否ニ付テ上告審

二	日	争	ヲ	為	ス	ヲ	得	ヘ	シ	而	シ	テ	大	審	院	ハ	之	ニ	関
不	及	扣	訴	院	ノ	判	決	ヲ	破	毀	シ	又	ハ	確	認	ス	ル	コ	
ト	有	ル	可	シ															
此	故	ニ	大	審	院	ハ	一	箇	ノ	訴	件	ニ	関	シ	占	有	カ	所	有
日	者	ノ	名	義	ヲ	以	テ	為	サ	レ	タ	ル	ヤ	否	ヤ	其	權	名	義
ハ	占	有	ル	正	名	義	タル	ヤ	否	ヤ	其	ノ	所	為	ル	時	効		
ヲ	中	断	ス	ル	ヤ	其	ノ	場	合	於	テ	時	効	ニ	要	ス			
ル	期	間	ハ	何	レ	ナ	リ	ヤ	等	ノ	問	題	ヲ	決	ス	可	キ	コ	ト
有	ル	可	シ	此	科	ハ	法	律	ノ	問	題	ニ	シ	テ	事	実	ノ	問	題

非  
 サ  
 ル  
 ナ  
 リ  
 推  
 定  
 二  
 関  
 シ  
 テ  
 二  
 曾

非ナルナリ

判事物ニ附ルタル推定ニ関シテハ

テ更同様に断定ヲ為セリ

第九十九條 年ヲ以テ計スル時効ニ至テハ申

中間ナル閏年モ平年ト等シク何レノ困難ナク

少計算セラル可シ唯特ニ記ス可キハニ箇沙場

●合ニシテ固ヨリ实例ヲ見ルヲ甚夕稀ナル可

シ口才一人平年ハ二月廿八日ニ始マリタル時

時効カ閏年ニ完結ス可キ場合ニテ此時ニ当

リ行ハ二月二十九日カ全ク終ルヲ必要ト

為ヌ才二人閏年ハ二月二十九日ニ始マリタル

の時効ニシテ此時効ハ平年ノ二月二十八日

ト共ニ成就ス可シ故ニ占有者若クハ債務者ハ

才一ノ場合ニ於テ一日ヲ損シ才二ノ場合ニ

於テハ一日ヲ利ス可シ

又月ヲ以テ計ラル時効ニハ右ノ如キ計算法ハ

ハ一層其適用ヲ見ル可シ或ル月ノ一日ニ始メ

リ少クニ時効ハ其法律上ノ期間ニ從ヒ最末月

ノ二十八日二十九日三十日又ハ三十一日ニ

於テ完結ス可シ若シ或ル月中途ニテ時効始マ

リルハ最末月ノ同日ヲ先クツリ日カ終リタル

ト成就スルモノナリ

小成就スルモノナリ

若日數ニ依リテ時効完結スルハ其始メリク

ル時ノ如何ヲ問ハス完全ナラサル日ハ之ヲ

計算セズ次日ノ午前ヨリ起算シ最末日ノ終

リナク夜半ニ完結ス

右布注意ハ一切ノ時効ノ初日及ヒ末日ニ適

用ス可シ日ノ分數ハ占有者又ハ債務者ノ利

益ニ許算セズ

知百第ニ章時効ノ拋棄

古有者又ハ債務者カ豫メ時効ノ利益ヲ拋棄

スル<sup>ル</sup>法律カ許サ、ルハ全ク人類ノ遠慮ナ

キ<sup>キ</sup>ヲ憂ヒ保護ヲ為ス、ノ目的ニ出テタルモノ

ナ<sup>ナ</sup>リ占有者カ取戻ニ迫マラシ<sup>レ</sup>而シテ之ヲ免

カ<sup>カ</sup>ル、為メ取得、証<sup>証</sup>辱ヲ有スルニモ拘ハラ

ス其敵手トナリテ現出セシ者ニ対シ決シテ時

効<sup>効</sup>ヲ援用セサル可キ<sup>可</sup>テ誤リテ明言スルコ

ト有ル可シ又債務者カ訴追ヲ恐ル、時又就

中契約ヲ為ス、ノ当時ニ之ヲ為ス、ハ最モ多ク且

ツ<sup>ツ</sup>決シテ怪シムニ足ラサル<sup>ル</sup>ナリ此才ニノ場

●合<sup>合</sup>スハ債務者ハ債務者ヨリ此條件ヲ命セ

ルル<sup>ル</sup>モ之ヲ拒ム<sup>ル</sup>能ハサル可シ然ラサレ

合... 債務者... 債務者ヨリ此條件ヲ命セ...

ルル... 之ヲ拒ム... 能ハサル... 可シ然ラサル...

ハ其至急ニ要用ヲ感スル金負借入又ハ現金ヲ

用テセザル購買ヲ断念セザル可カラス

而者共ニ決シテ其証拠即チハ所者權ノ証

証拠一ハ免責ノ証拠ヲ失ハサル可シト人妄信

ヲ為ヌカ為メ斯ル如キ果為ラ為スニ至ルニ

入ナリ

然<sup>リ</sup>然<sup>ト</sup>占有ノ場合ニ於テハ法律ハ占有者

力其占有ノ容假ノモノタルヲ認ムルヲ禁

スル能ハス是レ受シテ援用ノ權利ヲ有ヌ可キ

時効ヲ豫メ抛棄スルニ非ス唯自ラ時効ノ

利益ヲ受ク可キ地位ニ非ス所有者ノ名義ヲ以

テ占有スルニ非サル即チ主タル條件ノ一

ヲ欠キタルヲ認ムルニ過キス(才百三十八

八条参看)

立法律ハ此容假占有ノ追認ニ関シ後ニ至ラ更

ラニ言フ所アル可シ(才百二十条才二項参看)且

ツ之ヲ以テ單ニ所有者ノ現時ノ權利ヲ追認ス

ルト同一視ス可カラズ所有者ノ權利ノ追認

ハ未ダ以テ占有ニ容假ノ性質ヲ附スルニ足

ラヤサルナリ



ハ、未夕以テ占有ニ容假、性質ヲ附スルニ足

ラ、母ガルナリ

台、有及ヒ義務、而シテ場合ニ於テ期間ノ終

案、件ヲ令ヒ一、条件具ハリニカ為メ時効ヲ

援用ニ得ル地位ニ至リテ者ハ之ヲ抛弃ス

ル、得知シ然レ是レ既往ニ對スルモノ

ニテ決シテ更ニ新時効ノ利ヲ受クル權利ヲ

失、スル時、新時効ノ利ヲ受クル權利ヲ

又、占有者若クハ債務者ハ時効ヲ完成セザル

ル、以前ト雖モ尚ホ経過セザル時ノ利益ヲ抛弃ス

ル、得ル人トシテハ経過セザル時ノ利益ヲ抛弃ス

此此西箇ノ場合ニ於テハ爰ニテ拋棄者不注意

ナリト云フヲ得ズ彼自ラ其為ス所ヲ知り且

ツ之ヲ欲スレハナリ此場合ニハ本条末項ニ言

ヘル如ク對手ノ現在ノ權利ヲ追認シタルモ

ノト稱スルモ亦不可ナキナリ是ハ蘇味

追違認メ時効ヲ中断スルモ是ニ於テ中断後時

効ハ新ニ期間外進行ヲ始ルモナリ才百十

ハ本条以下參看(所)ナリ現時ニ權濫ス

第百一条ヲ拋棄ハ明示ナリ今ヲ必要トセズ默

示(得)ハシ然レバ此點ニ関シテ持

二争訟ヲ生セシメテ憂ヒ法律ハ拋棄カ事實ノ

起	ト	シ	ク	テ	ス	此	ト	ノ	ニ
ス	信	自	爰	時	債	故	為	情	争
ル	ス	己	ニ	効	務	ニ	セ	况	訟
ハ	ル	ノ	テ	ヲ	者	例	リ	ニ	ヲ
怪	者	權	時	援	カ	ハ		依	生
ム	ハ	利	効	用	受	占		リ	セ
ニ	推	又	ヲ	セ	取	有		テ	レ
足	定	ハ	抛	サ	証	者		明	ト
ラ	ヨ	免	棄	リ	ヲ	カ		カ	ヲ
ス	リ	責	ニ	シ	提	所		ニ	夏
推	寧	ノ	タ	ト	出	有		知	セ
定	口	直	リ	ス	シ	權		ラ	法
ハ	此	接	ト	ル	而	ノ		レ	律
時	直	証	認	モ	シ	証		得	ハ
ニ	接	拠	ム	可	テ	拠		ハ	抛
要	証	ヲ	カ	カ	之	ヲ		キ	棄
意	拠	有	ラ	ス	ニ	提		テ	カ
者	ヲ	セ	ラ	ス	附	出		ヲ	率
ヲ	提	リ	蓋	テ	シ	シ		必	実
								要	ノ

示  
得  
ハ  
シ  
然  
レ  
凡  
此  
點  
ニ  
関  
シ  
テ  
提  
テ

保庇スル所  
有ルカ故ニ  
廉潔ノ人ノ  
嫌疑スル

ル所タルヲ  
得ヘケレハ  
ナリ

時時効カ  
屢々初審  
ノ訟廷ニ  
於テ援用  
セラレサ

ル此場合  
ナリ此時  
ニ当テヤ  
証拠十分  
ナラ

ス補裁  
判所ノ為  
ニ判定セ  
ラレタル  
者ハ

扣訴裁判  
所ニ一切  
ノ証拠ヲ  
提出ニ且  
尚ホ時効

ヲ申立  
ワルニ其  
宜ヲ得  
タルモ  
是ハ

又及己ニ  
初審ニ於  
テ十分  
ノ証拠ニ  
依リ勝  
ラ得

タル者ト  
モ扣訴セ  
ラレタル  
片ハ其証  
拠

ノ外尚ホ時  
効ヲ援用  
スルニ甚  
タ可ナラ  
シ

サレハ若シ  
扣訴院ニ  
モテ始審  
ノ判決ヲ  
破リ

ノ外尚ニ時効ヲ援用スルニ甚ク可ナラシキ然ラ

サレハ若シ和訳院ニシテ始審ノ判決ヲ破リ

タ札ノ制ニ當リ大審院ニ時効ニ基クテ法ヲ提

出スルニ為シ得ヘカテサレテ下ルニ於テリ

才六十八條參看

第百三條 若シ無能力者ニシテ或孰セル時効

ヲ棄テスルニ得ルトモ法律カ其直接ニ

ニ為スルヲ禁ニタル所為即テ讓渡若クハ約諾

ニ間接ニ為スニ至ルヤ明カナリ

法律ニ時効ノ拋棄カ有効ナレバ無償ニテ

テ讓渡ノ約諾ノ能カヲ必要トセルヲ注意

入可シ此一罪推定セテタル取得又ハ免

責有償ノ性債ニ関シ曾テ述ヘタル所ヲ想

日起セシメ却テ矛盾スルカ如キ觀テ呈スル重

モ決シテ否ス夫レ時効ヲ得タル旨有者ニシテ

テ有償名義ヲ以テ即今對價ヲ與入テ取得セリ

トハ推定セテ元レハ若シ之ニ反シ時効ハ利益

ヲ得ルハ榮成拾モ對價物ヲ得ルト無クニテ

ハ讓渡ヲ為シタルト同一ノ損失被ルルヤ明

ラカナル免責時効ハ拋棄ニ關シテ亦同一ナ

リトス

唯對價物ヲ得テ拋棄ヲ為シタル場合ハ之ヲ

二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
後	七	カ	心	ル	法	和	不	例	唯
ハ	レ	推	心	ル	法	和	不	例	唯
受	ト	定	義	權	文	解	和	外	對
ニ	ク	タ	務	利	ニ	性	解	ト	價
テ	ス	ル	掲	及	於	性	性	ス	物
時	ル	性	ケ	ヒ	テ	規	負	可	ヲ
効	ニ	負	タ	消	取	則	ヲ	キ	得
ニ	在	ヲ	ル	滅	得	ニ	有	テ	テ
依	リ	有	ハ	セ	セ	從	ス	勿	抛
リ	要	ス	此	レ	テ	ス	ル	論	棄
權	ス	ル	域	ト	レ	可	モ	ナ	ヲ
利	ル	ニ	會	リ	タ	キ	ハ	リ	為
ヲ	ニ	ト	ニ	ト	リ	ナ	ニ	斯	シ
取	本	ヲ	遭	推	推	リ	シ	ル	タ
得	法	重	遇	定	定	可	テ	ル	場
ニ	ノ	子	ニ	セ	セ	キ	能	場	合
義	理	テ	テ	ラ	レ	リ	力	合	ニ
務	論	明	時	レ	レ	之	合	ニ	ハ
		方	効	レ	レ	之	合	抛	之
							棄	棄	ヲ

リトス  
 唯對價物ヲ得テ拋棄ヲ為シタル場合ハ之ヲ

ノ免ルト云フニト能ハサルナリ

法律ハ唯成就セル時効ノ事ヲ言ヘル

故ニ其權ハ行中ニ於テ無能力ナル債務者様

ハ占有者カ拋棄シタル時効ニ適用ス可キ

非ス此拋棄カ如何ナル價值ヲ有スルヤハ法律

義之ヲ言ハス然レモ無能力ニ関スル一般ノ原

則チ此困難ヲ免スルニ十分ナル可シ

ノ場合カ亦ハ場合ト同一ナル嚴格

ノ決定ヲ受ケサルニ至当ノ下ナリ才ニハ場合

ノ占有者又ハ債務者ハ時効ヲ得ルニ至

ル可キヤ否ヤ確カナリシナリ或ハ即成



・ 勝ハ占有者又ハ債務者ハ時効ヲ得ルニ至ル

ル可キヤ否ヤ確カナリシナリ或ハ即戻或

ハ弁済ハ請求ヲ受ケル下有ル可シ又既夫之

レヲ受ケタル下有ル可シ而シテ抛棄ニ依リ

此訴追ヲ豫防シ又或之ヲ停止セシメテ之ニ

及テ私シテオ一ハ場合ニハ彼唯一言ハ下勝利ヲ得

可カカリシナリ

然レハ牙ニハ場合ニハ抛棄ハ必然有効ナリ

ト云フニ非ス後ニ至リ追認ハ規定ヲ示ス

ニ当リ之ヲ為ス或ル能力ヲ要シ且此能力ハ何

人ヲ問ハス悉ク之ヲ有スルモノニ非サルコ

ト云フニ非ス後ニ至リ追認ハ規定ヲ示ス

ト 説明スヘシ (才百二十二条)

第百三條 債務者カ時効ヲ援用セサルハ其

債務者ハ債務者ノ名義ニ依リ之ヲ援用

シ得ヘシトハ既ニ才九十八條ニ依リテ明ナ

ル所ナリ此場合ニハ債務者ハ承権人トシ

テ其有スル權利ヲ行使スルモノナリ財産漏才

三 百三十九條 然レモ若シ債務者ハ唯之

レヲ援用セザルニ止マテ不明カ之ヲ抛棄シ

タ 九 十 條 債務者ハ未タ必スシモ其利ヲ失フ

モ 下 非 人 彼 才 債 務 力 取 得 或 免 責

ノ 時 効 ヲ 抛 棄 シ タル ハ 炎 シ テ 自 己 ノ 權 利 ヲ 不

毛  
利  
二  
非  
ハ  
彼  
ハ  
若  
シ  
債  
務  
カ  
取  
得  
或  
ハ  
免  
責

ノ  
時  
効  
ヲ  
抛  
棄  
シ  
タ  
ル  
ハ  
災  
シ  
テ  
自  
己  
ノ  
權  
利  
ノ  
不

●  
確  
ナ  
ル  
カ  
為  
メ  
廉  
潔  
ノ  
感  
情  
ニ  
依  
リ  
テ  
為  
シ  
タ  
ル

●  
非  
ス  
全  
ク  
債  
務  
者  
ト  
シ  
テ  
糸  
漉  
ク  
受  
ク  
ル

ノ  
一  
手  
段  
ヲ  
失  
ハ  
シ  
ム  
ル  
ハ  
意  
乃  
ク  
彼  
ト  
對  
シ  
詐

●  
害  
ノ  
意  
ヲ  
以  
テ  
為  
シ  
タ  
ル  
モ  
ノ  
ナ  
ル  
ト  
リ  
証  
ス  
ル

●  
ト  
リ  
得  
ハ  
彼  
ト  
ハ  
最  
早  
承  
權  
人  
ト  
シ  
テ  
行  
使  
ス  
ル

●  
非  
ス  
才  
三  
者  
ト  
シ  
テ  
運  
動  
ス  
可  
シ  
如  
何  
ト  
ナ  
レ  
ハ

●  
債  
務  
者  
ハ  
債  
權  
者  
ト  
シ  
テ  
期  
望  
セ  
ル  
利  
益  
ヲ  
失

●  
ハ  
シ  
ム  
ル  
ニ  
当  
リ  
之  
ヲ  
代  
表  
ス  
ル  
モ  
ノ  
ニ  
非  
サ  
レ

●  
ハ  
ナ  
リ  
債  
權  
者  
ト  
シ  
テ  
債  
務  
者  
ノ  
權  
利  
ニ  
依  
リ  
債  
務

●者、名義ヲ以テ時効ヲ援用スルニ非ズ廢罷

ノ、訴權ニ依リ自己ノ名義ヲ以テ之ヲ為スモ

モ、ナリ(財産漏才三百四十条以下參看)

●<sup>沙</sup>百<sup>第</sup>三<sup>章</sup> 時効ノ中断

●時効ニ関シテハ既ニ經過シタル時カ全ク効

果<sup>果</sup>畢ナキモ、ト為リ全ク更ニ其計算ヲ為ス如

トヲ要スル中<sup>ト</sup>断セラレタリト稱シ之ニ及

シ日テ停止ノ場合ニハ多クハ時間之ヲ止ムル

ノ三ニシテ停止終リタル時ハ停止ヲ為シ

久ル時ニ引續キテ時、計算ヲ為ス(第百二十)

九条參看)

第百五条 自然中断法定中断區別外國法

於テモ久ク用ヒ来レル所ニテ本法ニ

於テモ之ヲ棄テ可キニ非ズ其實際上大ナル

利益アルニテ才百七条及ヒ才百十条ノ規定ヲ

比照シテ明知スルヲ得ルニテ

又本法文ハ此區別カ單ニ取得時効ニ關ス

ルニテ注<sup>コ</sup>意セリ如何トナレハ免責時効ニ在

リテハ法定中断ノニ獨リ為シ得ヘケルハ十

法律ハ次条ニ於テ自然中断ヲ構成スルモ

火ノ時ニ引續キテ時ノ計算ヲ為ス第百二十

ヲ指示シ又才百九条ニ於テ法定中断ヲ構成

成ヌルモノヲ指示セリ然レモ學理的ノ定義

ヲ見ス

今理論ニ基テ之ヲ明ニスルトキハ自然中断ハ

有有形ノ事實即ケ占有ノ喪失ニ在リ之ニ及シ

テ法定中断ハ權利上又ハ裁判上ノ無形ノ事

事實ヲ生スト言フニ非得ヤシ

第百六条法定ノ占有即ケ取得時効ヲ生セシ

ルハ心占有ニテハ兩箇ノ原素アルニト是レ曾

テ説明シタル所ニシテ一箇ノ物件ノ現実は有形

ノ取得及ヒ所有者トシテ之ヲ有スルノ意思

于說明ニタレ所ニシテ一箇ノ物件ノ現実有形

ノ取持及ヒ所有者トシテ之ヲ有スルノ意思

即チ慣用ノ言語ニ依リ事實及ヒ意思ト稱ス

ル所ノモト是ナリ(財産漏才百八十余卷看若

シ占有者ニシテ物件ノ占有ヲ保存スルモ占

有ノ意思ヲ失ハシカ此場合ニハ中断アル者

ニ非ズシテ占有不継続ナリ(才百八条及ヒ才百

三十九条參看)之ニ反シ彼若シ意思ヲ存シ而

シト有有形ノ所持ヲ失ハレカ自然ノ中断アル

リ尚ホ且此占有ノ喪失カ真正所有者又ハ才

三者ノ所為ヨリ来ルヲ必要トス如何トナレハ

● 若し金ク占有者ノ意思ヨリ来ラシカ尙ホ占

● 有者ノ不継続アリ同上又若し一時ノ不可抗力

● 日判柔ラシカ占有者ハ為シ何北ノ利益ヲ

● 毛失フエト無シ本條才三項參看

● 又眞正ノ冥為者或ハ才三者ノ所為ニ依ル占

● 有ノ喪失カ自然中断ヲ生セシムルニハ右占

● 有者喪失カ一今年以上引續ルヲ必要トス然

● 有者若し占有者ニシテ天占有取戻訴訟権

● 二依リ占有ヲ取戻サハ其間未曾テ喪失シタ

● 有者ヲサレモノト看做サレ可シ(財産漏)

神二百六条卷者



也	●	ヲ	ニ	ル	由	不	由	法	法
也	可	觀	関	律	不	動	產	法	法
ル	之	察	ス	ハ	動	產	、	律	律
占	要	ス	ル	ヲ	不	、	包	ハ	ハ
有	ス	ル	場	許	動	三	括	此	中
、	ル	丁	合	サ	產	ノ	=	断	カ
所	=	能	ト	レ	ハ	包	得	レ	特
為	各	ハ	虽	ハ	十	括	レ	定	動
、	不	カ	モ	十	リ	ヲ	キ	產	又
月	動	ル	変	リ	有	占	丁	ハ	不
的	產	程	シ	彼	レ	有	ク	動	產
タ	=	與	テ	ハ	相	レ	云	又	ハ
リ	付	數	特	続	ハ	言	ヘ	不	動
シ	キ	ナ	定	ノ	ス	ハ	リ	產	或
ヤ	十	ル	物	不	是	レ	然	レ	ハ
否	分	丁	ト	動	レ	蓋	レ	動	產
ヤ	性	有	シ	產	効	シ	レ	或	ハ
ラ	質	ラ	テ	=	ク	法	レ	ハ	動
檢	完	サ	之	レ	得	法	レ	動	產
ス	備	ル	ル	=	レ	法	レ	動	產

ル  
 有  
 三  
 大  
 条  
 卷  
 者  
 一  
 看  
 做  
 十  
 几  
 可  
 財  
 產  
 漏  
 財

ル  
ル  
要ス

田是レ爰ニテ時効ニ依リ動産不動産ヲ包有シ

且~~ル~~フ開始セル相續財産ヲ取得スル能ハズ

ト云フニ非ス然レ氏此場合ニハ有形物件ノ

占有ノ外主タル相續権ノ行用及ビ相續人ノ名

義勇資格ノ占有アル可シ

沖才百四奈ニ既ニ時効ノ進行ハ中断ノ原因止

三夕ル時ヨリ再ヒ直子ニ始マルニトテ明力

ニシタルモ尚ホ本條ニ於テ同様ノ規定ヲ設ク

ル  
爰ニテ無用ナラス又且法定中断ノ事項

ニ  
關シ更ニ之ヲ觀ル可シ  
才百二十一條參看

ル  
中  
止  
受  
シ  
テ  
無  
用  
ナ  
ラ  
ス  
又  
且  
注  
定  
中  
断  
ノ  
事  
項

ニ  
關  
シ  
更  
ニ  
之  
ヲ  
觀  
ル  
可  
シ  
才  
百  
二  
十  
一  
條  
參  
看

●  
如  
何  
ト  
ナ  
レ  
ル  
此  
諸  
種  
ノ  
場  
合  
ニ  
ハ  
多  
ク  
、  
差  
ア

ル  
以  
テ  
ナ  
リ  
此  
諸  
種  
ノ  
場  
合  
ニ  
ハ  
多  
ク  
、  
差  
ア

之  
例  
ハ  
本  
條  
ノ  
場  
合  
ニ  
ハ  
若  
シ  
中  
断  
者  
自  
ラ  
占  
有

ヲ  
止  
メ  
タ  
ル  
ハ  
此  
一  
事  
ノ  
時  
効  
力  
占  
有  
ヲ  
失  
ハ

久  
執  
ル  
者  
ハ  
利  
益  
ニ  
進  
行  
ヲ  
始  
ム  
ル  
ニ  
未  
タ  
十  
分

ヲ  
認  
ム  
ル  
ヲ  
注  
意  
ス  
ル  
ト  
有  
益  
ナ  
リ  
尚  
ホ  
其  
占  
有

ヲ  
回  
復  
セ  
ル  
ト  
ナ  
ル  
ハ  
必  
要  
ト  
ス  
ル  
ハ  
必  
ズ

之  
ニ  
反  
シ  
テ  
訴  
訟  
手  
續  
ニ  
依  
テ  
生  
ジ  
タ  
ル  
法  
定

●  
中  
断  
ナ  
ル  
ト  
キ  
ハ  
其  
中  
断  
ハ  
之  
ヲ  
生  
ゼ  
シ  
タ  
ル  
法  
定

●  
中  
断  
ナ  
ル  
ト  
キ  
ハ  
其  
中  
断  
ハ  
之  
ヲ  
生  
ゼ  
シ  
タ  
ル  
法  
定

ル訴訟手續ハ継続スル間依然トシテ効力ヲ生

スルハモシテ其手續終ルトキハ後ニ示ス

●ハキ或ル条件ヲ以テ直ニ進行ヲ始ムル

モノナリ

不可抗力ニ因ル占有ハ一時ノ喪失ハ假令内

●亂ル場合ヲ相像スルヲ要セズニテ尚ホ洪水

火災山破裂又ハ霖雨大雪北ニ因リ占有者ヲ

シテ或ル土地ニ近ソクテ得ザラシムル場合

●於テモ生シ得ヘシ

第百七条 自然中断ト法定中断ト其効果ヲ異

ニテ示スル最著ニキル実ニ本条ノ規定スルニ異

第一百七条 自然中断ト法定中断ト其効果ヲ異

ニテナル最著シキハ実ニ本条ノ規定スルニテ

ニ在リ法定中断ハ自ラ中断ノ取為ヲ為シタ

ル者若クハ其利益ニ於テ其所為カ為サレ

ル者或ハ其承權人ノ利益ニ於テ其利益ニ

モナリ才百十條ニ參看一般權利上ノ所

為及ヒ特ニ裁判上ノ所為ハ効力ト等シク此

北効力ハ全ク關係的ノモノナリ之ニ及ビテ自

然中断ハ完全ノ効力ヲ生シ一般ニ利益ハ關

係係アル人ヲ利スルモノナリ自然中断ハ殆

ト占有物件ニ對シテ行ハレ法定中断ハ中断者

ノ以開之テ行ハルト云フニトシ得ヘシ

右面有カ其主タル原素ナル物件ノ所持ニ於テ

事止ニタル時ハ占有ヲ奪ヒタルモノ、誰タル

ルニ論テ占者ハ何人ニ対スルモ必要ノ期

間ヲ充テサレリシ占有ヲ以テ主張ヲ為スニ

ト能ハサルハ固ヨリ年ヲ待スニ及ビテ占

有者ヲ失ハス軍ニ取戻シ請求ヲ受ケタル人ニ

大抵ル時ハ此裁判上人所為ヲ以テスル法定ノ

中断ハ之ヲ為シタル者又ハ其承權人ニ非サ

レハ利益セサル下拾得之ニ引續キニ最後ニ下

サレタル判決力軍ニ此關係的ノ効力ヲ有ス

レハハ利セサル下拾モ之ニ引續キニ最後ニ下

サレトモタル判受カ單ニ此關係的ノ効力ヲ有ス

ルニ止マルト同一ナリ是レ既判事物ノ効力

才三者ヲ害セズ又之ヲ利セズハ原則

通用ナリ

第百八条 占有者ノ任意ニテ或ル時人間占有

ラ正メタル時ハ純然タル自然中断ナルモ

存セサル下既ニ前段ニ之ヲ言ハリ此場合

ニハ占有ノ不継続アリ固ヨリ西箇ノ事實大ニ

相類似ナリ如何トナレハ不継続占有ハ時効ヲ

● 生ズルニ足ラズ更ニ全ク之ヲ始メサル可力

うまス(才百三十九条參着)而シテ不継続ノ効力

力ハ自然中断ノ効果ノ如ク完全ナレハナリ然

レレハ其ノ原因ニ関シテハ兩者ヲ混同セ

ササルトウ要ス如何トナレハ本条ニ云ハル如

ク不継続ハ有形所持ノ委棄ニナラヌ尚ホ

意思ノ喪失更即チ所有者トシテ占有スルニ意

思思ノ消滅ニ因リテ生スルヲ得ヘケレハナリ

第百九条法定中断ハ五箇ノ方法ハ各別に次

●条以下ニ於テ詳細ニ規定セテレタルハ故

ニ合意ニ之ヲ述フルトウ要セス

●其最後ノ条件ニ付テ一言不可シ嚴格ニ言ハ



今迄之ヲ述フルヲ要セス

其最後ノ条件ニ付テ一言ス可シ嚴格ニ言ハ

此条件ハ法文ナキモ之ヲ補フテ得ハカ

其条件ハ則チ訴訟或ハ追認月所為

力ハ明カニ之ニ対シ時効進行スル者ノ權利

嬰スルコトヲ要シ且フ時効ノ利益ヲ受ク

者ノ權利関スルヲ必要トスルコト是ナ

夫レ法廷ニ提岁スル訴訟或ハ勸解呼出

如何ナル物件ヲ取戻スカ如何ナル并濟ヲ請

求スルカ又何人カ被害タルヤヲ十分明カ

指定セカルヲ有ル可シ固ヨリ法廷ニ於テ請

指定セカルヲ有ル可シ固ヨリ法廷ニ於テ請

求ヲ為ス者ハ十分其主張スル所ヲ明カニス

ルルハ要スヘシ然レモ中断ハ唯此時ニ始マ

ル可レ不完全ナル呼出カ為サレタニ時ニ始

マルニ非ス

此ハ條件ノ有益ナルトハ尚ホ本法ニ於テ時

効ヲ中断シ得レ方式上無効ナル請求ニ関

シテ才百十意奉ニ於テ之ヲ見ル可シ

第百十條 本条ハ才百七条ト相合シテ自然中

断ト法定中断ノ効果上ノ差異對比ヲ完カテ

シテ自然ノ才百十意奉ニ於テ之ヲ見ル可シ

シテ法定中断ノ效力ハ完全ノ中断ハ其効力完全

シ山ルモナリ自然ノ中断ハ其効力完全

シテ法定中断ノ効力ハ全ク毀滅的ナリ此点

ニ関シテハ既ニ才百七条ニ詳述シタルヲ以

テ更ニ茲ニ之ヲ説クノ必要ナシ

第百十壹条最モ類繁ニシテ且最モ当然ナル

ル法定中断ノ才一ノ方法ハ裁判上ノ請求ナリ

此ニ請求ハ主タルモノ即チ訴ヲ開始スルモノ

又此ハ有リ附帯ハモ即チ才一ノ訴ニ附加

シテ訴訟中ニ生ズルモノタルヲ有リ又反訴

任セ即チ相殺ノ請求如キ原告ノ右二箇

ノ請求中其一ニ対スル答弁ニ供スルモノ

ル  
有  
ル  
可  
キ  
ト  
是  
レ  
法  
文  
ノ  
明  
示  
ス  
ル  
可  
キ  
ト

リ  
此  
区  
別  
タ  
ル  
訴  
訟  
法  
ニ  
於  
テ  
ハ  
頗  
ル  
重  
要  
ナ  
ル

モ  
別  
ナ  
刺  
リ  
而  
シ  
テ  
法  
律  
カ  
益  
ニ  
此  
三  
種  
ノ  
訴  
権  
ヲ

日  
同  
列  
ニ  
置  
キ  
シ  
可  
以  
ノ  
モ  
ノ  
ハ  
必  
竟  
ス  
ル  
ニ  
此  
區

区  
別  
ニ  
從  
テ  
本  
條  
ノ  
規  
定  
ス  
ル  
莫  
ニ  
差  
於  
テ  
為  
ス

可  
キ  
理  
由  
ア  
ラ  
ザ  
ル  
ヲ  
以  
テ  
ナ  
リ

本  
條  
ノ  
目  
的  
ト  
ス  
ル  
可  
キ  
請  
求  
カ  
縱  
令  
方  
式  
上  
無

目  
効  
タ  
リ  
又  
ハ  
管  
轄  
違  
ハ  
為  
ス  
時  
効  
ヲ  
中  
断  
ス  
ル

ノ  
効  
カ  
ラ  
生  
ス  
ル  
ノ  
妨  
タ  
ラ  
ザ  
ル  
コ  
ト  
ヲ  
示  
ス  
ニ  
在

リ  
ト  
ス

此  
此  
莫  
ニ  
付  
テ  
ハ  
本  
法  
ハ  
外  
國  
ノ  
諸  
法  
ニ  
比  
ス  
レ  
ル

リトス

此此矣ニ付テハ本法ハ外國ノ諸法ニ比スレハ

★ 中断ニ利ナル方向ニ尚ホ一歩ヲ進メタリ

ト云フ可シ実ニ諸國ノ法律ハ訴ヲ受ケタル裁

★ 判所ノ管轄邊ハ中断ノ妨ケタラサルナラ

メタリトモ方式ノ無効ニ付テハ同一ノ審

日 恕ヲ興ヘサレハナリ

為而シテ外國ニ於テ之カ理由トスル果ハ未タ

此吾人ヲ説明スルニ十分ナラサルカ如シ乃

ケル其説ク所ニ依レハ裁判管轄ノ問題タル程

々々煩雜ナルモノナリカ故ニ此事ニ関スル原

● 告ノ錯誤ニ之ヲ宥恕スルヲ得ヘシト云

モ請求ノ方式ハ明瞭ニ法律上定ムル所ナレ

ハ之ヲ怠リタル場合ニ於テ別ニ宥恕ス可キ所

ナキレト然レモ請求ノ方式ハ明瞭ニシテ何

ノ● 因難ナシト云フカ如キハ爰ニテ正確ノ言

ナリト云フ可ラス全ク方式ニ欠ルルカ為

ニ無効ナル訴状ヲ裁判スルカ棄却スル如キハ実

● 際於テ有リ得ヘキ限ニシテ但方式ニ合ス

ル● 訴状ヲ以テ更ニ此ノ請求ヲ為シ得ヘキナ

夫レ然リ然ラズ則テ相手方ニ為シタル通知

ナ	フ	ク	ノ	ル	ル	ナ	リ	ノ	ノ
不規則	受ク	権利ノ消滅	如クナル以上ハ被	非ナルナリ只進行スルニ過キス已ニ斯	以テ既得權ニ非ス又未タ完然ナル証據	ナルニ非ス且夫レ時効未タ成就セ	ト看做スハ最モ簡易ニテ且又最モ正當	以テ時効ノ進行ヲ止ムル為メ十分	然リ然ラレ則テ相手方ニ為ニタル通知
ナルモ被	テ	セ	ハ	ニ	ニ	レ	モ	ハ	ル
告	リ	ト	ナ	ニ	タ	時効未	簡易ニ	止ム	ル
敢	ト	ク	其	ニ	タ	未	ニ	ム	ル
テ	為	ク	對	ニ	タ	成	テ	ル	ル
関	ス	ク	手	ニ	タ	就	且	為	ル
ル	其	ク	人	ニ	タ	セ	又	メ	ル
取	請	ク	ニ	ニ	タ	七	最	十	ル
ニ	求	ク	於	ニ	タ	サ	モ	分	ル
非	如	ク	テ	ニ	タ	ハ	正	ナ	ル
	何	ク	其	ス	タ	ハ	當	ナ	ル
		ク	其	ス	タ	ハ		ナ	ル

ル  
ナ  
リ

唯  
此  
矣  
ニ  
付  
テ  
ハ  
才  
百  
九  
条  
未  
文  
ニ  
定  
メ  
タ  
ル  
條

●  
件  
ヲ  
注  
意  
ス  
ル  
コ  
ト  
ク  
要  
ス  
其  
条  
件  
ニ  
從  
ヘ  
ル  
方

式  
或  
ハ  
無  
効  
ハ  
時  
ト  
シ  
テ  
ハ  
時  
効  
ノ  
中  
断  
ヲ  
妨  
ク  
ル

コ  
ト  
有  
リ  
即  
チ  
請  
求  
ノ  
方  
式  
中  
ニ  
ハ  
同  
条  
ニ  
規  
定

之  
如  
ク  
一  
箇  
ノ  
必  
要  
ナ  
ル  
モ  
ノ  
有  
リ  
テ  
其  
不

履行  
ハ  
全  
ク  
請  
求  
ヲ  
シ  
テ  
其  
効  
テ  
ハ  
効  
力  
ヲ  
失  
ハ

ハ  
ニ  
ム  
ル  
ニ  
ナ  
リ  
即  
チ  
請  
求  
ノ  
目  
的  
ハ  
指  
示  
是  
ナ

リ  
差  
シ  
訴  
状  
ニ  
於  
テ  
此  
指  
示  
ヲ  
欠  
キ  
タ  
リ  
ト  
セ

シ  
カ  
被  
告  
ハ  
已  
シ  
ニ  
對  
シ  
テ  
原  
告  
カ  
如  
何  
ナ  
ル  
主  
張

シ  
カ  
被  
告  
ハ  
已  
シ  
ニ  
對  
シ  
テ  
原  
告  
カ  
如  
何  
ナ  
ル  
主  
張



ラ	ヲ	シ	ル	ル	ル	ハ	今	レ	シ	カ	被
我	為	ル	ヤ	瑕	必	如	管	ハ	カ	告	
立	ス	ル	明	疵	要	何	轄	ハ	ハ	ハ	
法	可	為	カ	ヲ	ナ	コ	遠	ナ	バ	已	
者	キ	メ	ナ	補	リ	テ	ヲ	リ	シ	レ	
ハ	ヤ	ニ	リ	フ	此	完	為	シ	ニ	ニ	
新	中	ハ	ト	為	ノ	全	メ	ハ	知	対	
請	是	如	ス	メ	如	ナ	無	ル	シ	シ	
求	レ	何	然	ニ	キ	ル	効	ト	テ	テ	
提	亦	十	レ	ハ	場	ハ	十	ル	テ	テ	
起	一	ル	凡	新	合	キ	ル	テ	テ	テ	
、	箇	期	中	請	ニ	ヤ	請	テ	テ	テ	
為	ノ	間	断	求	於	ヲ	求	ニ	テ	テ	
メ	問	ニ	ヲ	テ	テ	定	基	基	テ	テ	
ニ	題	於	レ	為	才	ム	ク	ク	ル	ル	
ケ	ナ	テ	テ	ス	一	ル	法	定	ヤ	ヤ	
月	リ	新	確	ヲ	ノ	コ	中	中	明	明	
、	而	請	定	ヲ	請	ト	断	断	カ	カ	
期	シ	求	セ	要	求	実			ナ	ナ	
間	●			ス					十	張	

ヲ、典、ハ、タ、リ

第百十二條 本條ハ前條ノ第二項ニ牽連スル

モ、~~序~~ニシテ最初ニ有効タル中断カ次ヲ無効

ト、~~ハ~~為ルヘキ他ノ三箇ノ場合ヲ示セリ

沖、~~書~~一ノ場合 請求カ方式及ヒ裁判管轄ニ於

テ、適正ナリシモ基本ニ於テ棄却セラレタ

ル場合ナリ此場合ニ於テ時効ノ中断ハ恰モ其

● 請求ニ関スル条件附ノ効力タリシヲ以テ其

● 請求ニ等シク棄却セラレ可キヤ明カナリ

生、~~筆~~トシ人成ハ之ヲ駁シテ云フ者アリシ若シ

● 請求カ基本ニ棄却セラレモノトセシカ

此等ノ人成ハ之ヲ駁シテ云フ者アリシモ若シ

諸米カ基本ノ上奔却セラルモノトセシカ

被告カ同一ノ事件ニ付更ニ訴ヘラレタル場合

ニ於テ援用ス可キハ最早時効ニ非スニテ既

以テ判事カナリ故ニ斯ル場合ニ於テハ從ヒ時効

ハ未タ成就セザル下キト雖モ尚ホ新ナル訴

テ免カレハ得ハキニ非スヤト

右ノ論ニ答ハシテ教名ノ當事者アリ

テ其當事者カ互ニ各自ノ利益ニ於テ既判力

ヲ援用スルノ資格ヲ有セザルモ却テ各時効ヲ

● 援用スルヲ得ハキ場合ヲ假想定スルニトシ

ヲ要スヘシ

之例 爰ニ 數名ノ 連帶債權者 又ハ一ノ 不可

分債務ニ 付 數人ノ 債權者アリト 想定スヘシ

此場合ニ 於テ 其債權者ノ 一人ノ 為ニタル 訴

追 他ノ 債權者ノ 利益ニ 於テ 時効ヲ 中断

ス可ニ 担保 編才八十一 条及ヒ 才八十九 条才二

項 參看 然レトモ 訴追 為ニタル 債權者ノ 不

利益ニ 於テ 此債務ニ 付キ 為サレタル 判決

未タ 必シモ 常ニ 他ノ 債權者ヲ 害スルモ

非ス 同編才七十八 条乃至 才八十 条參看 然

ハ 則チ 債務者 債權者ノ 一人ニ 對シテ 勝訴

十	知	時	ム	成	●	二	ス	父	ハ
リ	身	時	ル	成	シ	付	ス	則	ハ
抑	二	効	コ	立	然	キ	不	則	ハ
取	ノ	成	ト	ト	レ	他	レ	ハ	ハ
下	場	就	無	看	氏	ノ	得	至	ハ
ト	合	シ	ク	做	最	債	サ	モ	ハ
ハ		其	新	サ	初	権	ル	其	ハ
訴	原	効	ナ	レ	ノ	者	エ	判	ハ
訟	告	カ	ル	タ	訴	ノ	ト	受	ハ
即	力	ヲ	訴	ル	追	訴	ア	テ	ハ
今	取	生	追	カ	ヨ	追	ル	以	ハ
既	下	ス	、	為	リ	テ	カ	テ	ハ
ニ	ヲ	ル	者	メ	生	受	故	他	ハ
為	為	コ	時	其	ス	ル	ニ	ノ	ハ
ニ	ニ	ト	ニ	後	ハ	エ	猶	債	ハ
タ	タ	有	於	進	キ	ト	ホ	権	ハ
ル	ル	ル	テ	行	中	ア	ホ	者	ハ
手	場	可	ハ	テ	断	ル	ホ	ニ	ハ
鏡	合	シ	ハ	止	人	可	ホ	対	ハ
ノ	●	シ	巴	ム	不	可	ホ	抗	ハ

二非ノ同編才七十八余乃至才八十余参看此

● 委棄ナリ然レトモ權利同体抛棄ニ非ス權利

ノ委棄ハ義務ニ関スル場合ニ於テハ合意上

ノ新編教ヲ以テ之ヲ為シ又物權ニ関スル場合

ニ於テハ抛棄ヲ以テ之ヲ為シ時トシテハ此

● 二種ノ權利ノ為メ和解ヲ以テ之ヲ為ス

ヲ要スルモノナリ原告若シ取テ下リ為スニ於テ

ハハ事物ニ會テ請求ナキ以前ノ形状ニ復シ再

ヒニ新請求ヲ起スルハ固ヨリ法ハ許ス取ト至

トモ中断ハ全ク不成立ニシテ時効ハ常ニ進行

スルカ故ニ新ナル請求ノ當時ニ於テ時効カ

● 已ニ成就スル片ハ其請求ハ棄却セラル可也

レ	無効	予	ト	又	ノ	日	父	米	●
ク	効	別	ト	休	●	事	判	申	巳
不	ト	全	同	止	不	タ	ト	三	ニ
成	ナ	ク	一	ヨ	継	ル	ノ	ノ	成
立	リ	前	視	リ	続	民	場	合	軌
ト	タ	ニ	ス	来	ヨ	事	合	訴	ス
着	タ	掲	ル	ル	リ	訴	訴	訟	ル
做	ル	ク	ヲ	訴	生	訟	ヲ	カ	片
ス	ト	ル	要	訟	ス	法	受	手	ハ
カ	キ	取	ス	ノ	ル	ニ	ケ	續	其
故	ハ	ト	其	無	モ	定	タ	上	請
ニ	後	同	効	効	ノ	メ	ル	全	求
時	テ	一	カ	ハ	ナ	タ	場	ク	ハ
効	時	十	ニ	之	リ	ル	合	ナ	棄
ハ	効	リ	数	ヲ	ク	時	ナ	リ	却
新	ノ	然	多	點	ク	期	而	ニ	セ
請	中	レ	ノ	示	ク	内	ニ	歸	ラ
求	断	氏	點	、	ク	ニ	テ	シ	ル
、	ハ	訴	ニ	取	ク	訴	此	レ	可
当	之	訟	於	下	ク	追			レ

二  
 此  
 カ  
 故  
 ニ  
 新  
 ナ  
 ル  
 請  
 求  
 、  
 当  
 時  
 ニ  
 於  
 テ  
 時  
 効  
 カ

●時ニ於テ成就スルヲ得ヘシ

●出 上 ト モ ト モ 訴訟ノ無効ハ取下ト尤ノ点ニ於テ異

ナタル所アリ即チ当然ニ生セサルコト是レナ

リ、故ニ原告カ新手續ヲ以テ訴訟ノ無効ヲ補

●出 医スルニ先チ被告ヨリ之ヲ援用セサル可

カラス之ニ及シ取下ハ被告一旦之カ通知ヲ受

ク ル レ ト モ ト モ 以上ハ全ク其既得ノ權利ニ屬スルモノ

ナリ

●出 第百十三条中断カ請求ニ因リテ行ハルニ場合

ニ、出 ル レ ト モ ト モ 訴訟ハ原告ハ多ク接近シタル所為ヲ以テ

之類ヲ維持スルノ義務ヲ有セサルヤ当然ニ



ニ、於テハ原告ハ多文接近シタル所為ヲ以テ

之類ヲ維持スルノ義務ヲ有セサルヤ否然ニ

シテ訴訟手續ノ通常ノ所為ヲ行フヲ以テ是レ

リト<sup>ハ</sup>ス且此所為ハ已ニ前段ニ云ヒタル如ク

被告ノ請求ニ因リテ宣告セラレタル訴訟

ノ無効アリ<sup>ハ</sup>非サレ<sup>ハ</sup>効カシ失フコト<sup>ハ</sup>有

ラサレナリ

此故ニ本条ニ掲クル取モ亦中断セラレタル

ル時効カ直チニ進行テ始メサル一箇ノ適例場

合ナリ

第百十四条 若シ勸解ヲ試ム可キ場合ニ於テ

ハ、之カ為メ被告ニ送シタル召喚カ時効ヲ中

断スルハ固ヨリ当然ナリトス何トナシハ彼

勸解ノ事タル被告ノ相手方カ之ニ自己

ノ主張ヲ知ラシメテ自己ノ權利ヲ保存セン

ト欲スル才一ノ行為ナレハナリ

又時トシテハ当事者費用ヲ避ケ併セラ好意

ヲ証スル為メ此意ニテ勸解ニ出席スルヲ有

此場合ニ於テハ其出席ノ日ヨリ時効ノ中断

アリトス之ニ反シ最初ノ場合ニ於テハ召喚

ノ日ヨリ時効ノ中断アリ而シテ其召喚ノ日

ハ、常ニ先席ノ日ニ先ツモナリ

一日ヨリ時効ノ中断アリ而シテ其召喚ノ日

ハ常ニ出席ノ日ニ先ツモノナリ

日本条ノ場合ニ於テ裁判上ノ召喚ト勤解ノ

召喚ト相似タルニ箇ノ矣ヲ左ニ示サシ

カ一反訴ノ請求ハ此事ニ関シテハ之ヲ主

ルニ請求ト同視ス(才壹項)

カ二無効ノ召喚ハ其才一ノ召喚カ棄却アリ

父ルハ時ヨリ一ヶ月以内ニ適正ノ請求ヲ為シ

テ之ヲ補フニトシ要ス(才二項)

又被~~召~~被告カ適正ノ召喚ニ應~~シ~~テ出席セサルカ

若~~シ~~ハ其ノモ任意ニテ又ハ召喚ニ基キテ出席

ニ 以テ 後 勸 解、 不 調ト 為リタル 場 合ニ 於テ

テ 其 不 調ノ 時ヨリ 一 月 以 内ニ 裁 判 上ノ 請 求

ヲ 起サ、 凡 中 断ハ 不 成 立ト 看 做サレ

可シ 才 四 項

第 百 十 五 条 一 方ノ 當 事 者カ 既ニ 已レニ 利 益

ナレバ 判 決ヲ 受ケタルカ 又ハ 判 決ヲ 待ツラ 要

セズニテ 執 行カアル 公 正 証 書ヲ 有スル 場 合

ニ 於テハ 若シ 其 當 事 者カ 時 効ヲ 中 断セシ

ト 欲スルコトアルモノ 勸 解 上ノ 召 喚ヲ 為シ 若

クハ 裁 判 上ノ 請 求ヲ 起スレ 能ハサルハ 明カ

ナリト 不 然 凡 之 尚 未 既ニ 判 決アリタル 場 合

日	午	ヲ	日	此	ル	日	ラ	●	ナ
判	執	●	カ	故	ル	効	=	=	リ
上	行	問	ヲ	=	ト	ハ	進	於	ト
、	ノ	ハ	以	法	有	初	行	テ	ス
請	請	ス	テ	律	ル	ヨ	ヲ	ハ	終
求	求	利	シ	々	可	リ	始	一	ル
ヨ	ハ	害	依	執	シ	進	メ	且	モ
リ	之	閥	テ	行	テ	行	又	中	尚
モ	ヲ	係	所	ノ	テ	ニ	公	断	ホ
更	受	人	有	請	此	正	正	セ	既
=	ケ	ハ	者	求	際	証	証	テ	=
強	タル	利	タル	=	将	書	ノ	レ	判
大	者	益	ト	附	=	ノ	場	タ	變
ナル	=	ヲ	債	ス	成	合	=	ル	アリ
通	対	保	権	ル	就	=	於	時	タ
知	シ	護	者	=	セ	於	テ	効	ル
ヲ	テ	セ	タル	中	ト	テ	ハ	ハ	場
包	ハ	リ	ト	断	ス	ハ	其	後	合
含	裁	乃	ト	ノ		時	更		
		●		効					

リハ裁判上ノ請求ヲ起ス下能ハサレハ明カ

不  
ル  
モ  
ノ  
ナ  
リ  
然  
レ  
ト  
モ  
執  
行  
ノ  
請  
求  
ヲ  
為  
シ

タ  
ル  
当  
事  
者  
ハ  
之  
ヲ  
為  
シ  
タ  
ル  
後  
絶  
ヘ  
テ  
危  
険  
ニ  
遭

●  
違  
ス  
ル  
ト  
無  
ク  
際  
限  
ナ  
ク  
何  
れ  
ノ  
行  
為  
ヲ  
為  
サ

フ  
シ  
テ  
可  
ナ  
リ  
ト  
思  
量  
ス  
可  
カ  
ラ  
ス  
即  
チ  
執  
行  
ノ  
請

求  
ル  
ヲ  
為  
シ  
タ  
ル  
時  
ヨ  
リ  
一  
ヶ  
年  
内  
ニ  
差  
押  
執  
行

ヲ  
為  
ス  
可  
ク  
然  
ラ  
サ  
レ  
ハ  
時  
効  
ノ  
中  
断  
ハ  
不  
成  
立

タ  
ル  
可  
キ  
モ  
ノ  
ト  
ス

●  
民  
事  
訴  
訟  
法  
ニ  
定  
メ  
タ  
ル  
方  
式  
ニ  
関  
シ  
不  
規  
則  
ナ

ル  
一  
取  
ア  
ル  
ト  
キ  
ハ  
其  
請  
求  
ハ  
未  
タ  
必  
ズ  
シ  
モ  
何  
カ

●  
ノ  
効  
力  
ヲ  
生  
セ  
サ  
ル  
モ  
ノ  
ニ  
モ  
非  
ス  
ト  
モ  
然  
ル  
モ  
常

ニ  
時  
効  
ヲ  
中  
断  
ス  
可  
キ  
モ  
ノ  
ニ  
モ  
非  
ス  
即  
チ  
如

効力ヲ生セサルモノニモ非スト条凡尔常

ニ時効ヲ中断ス可キモノニモ非ス即チ也

クモ此請求力次条ニ説明スル催告ノ時効ヲ中

断スルニ必要ナル条件ヲ備具スルヤ否ヤ

ヲ査定シテ之ヲ受ズルコトヲ要ス

催促告ハ債務者ヲ遲滞ニ付スルノ一方法ニ

シテ立法者ハ之ヲ以テ時効ヲ中断ス可キ方法

ノ一トシテ採用セリ

然レモ法律ハ之ニ関シテ二箇ノ条件ヲ規定

シタリ而シテ其條件ノ一ハ才百九条末項

ノ規定ヲ想起セシメ其才ニハ前教条ノ法文

二、掲ケタル数箇ノ類似セル条件ト相和スル

●モノナリ即チ才一此催告中ニハ其催告ノ関

係係スル義務、目的其原因ヲ指示シ如何ナ

ル義務ナルヤヲ明ニスルコトヲ要シ才ニ催告

力●無効ナル片ハ其催告後六ヶ月以内ニ裁判

●上又ハ勸解上ノ請求ヲ為スコトヲ要スル是

レナリ

第百十七條 執行ノ請求カ毫モ法律ノ規定ニ

及●之レ有ラサレ場合ニ於テ其請求●

ハ時効中断ノ効カヲ生スト雖モ若シ其執行請

●求、後六ヶ月以内ニ差押執行ヲ為サレ



八時効中斷ノ効カヲ生スト至氏若シ其執行請

● 求、後大介月以内ニ差押執行ヲ為サシム

ニ於テハ中斷ハ不成立ノモノタルハ既ニ才百

十日五條ニ於テ説明シタル所ナリ唯此期限ト

雖對モ未タ時重<sup>如</sup>成就セサル前ニ於テ差押ヲ為

シタルトキハ是レ亦新タル中斷ノ原因タ

ル<sup>ル</sup>ハ<sup>ル</sup>中斷ノ<sup>ル</sup>原因<sup>ル</sup>タ<sup>ル</sup>

● 或ル急迫ノ場合ニ於テハ差押ヲ為スニ豫

メ執行文ノ提示ヲ為スヲ要セサル可シ而シテ

テ是ホノ差押ハ依テ時効ヲ中斷スルニ足ルモ

ノ<sup>ル</sup>トス又之ニ関スル手續ハ種々ノ附帶事情

二 依りて多少ノ時日ニ亘ルト有ル可キカ故

三 法文ハ若其手續カ適正ニ其終結マテ継続

スルハ其手續ノ継続スル商ハ中断ノ原因

常ニ継続スルモノト定メタリ

亦第三項ハ或ル適例ヲ示シテ之ヲ説明セサル

可カラズ例ハ一人ノ債権者カ債務者ノ債

債務者即チ亦三債務者ニ債権ノ差押ヲ為ス

トテ可シ然ルニ此差押ハ時効ノ利益ヲ受

クハキ者ニ対シテ行フモノニ非ス何トナ

レハ此場合ニ於テ時効ノ利ヲ受ク可キハ主文

ル債務者ナレバナリ此故ニ右ノ差押カ時効

レハ此場合ニ於テ時効ノ利ヲ受ク可クハ主ク

ル債務者ナレハナリ此故ニ右ノ差押カ時効

ヲ中斷スル為メニハ之ヲ主タル債務者通知

セ切ル可カラス是レ極メテ至当ノ事タリ

トス債主カ債貸ニタル不動産上ニ存スル物

ト件ニ付担保ノ權利ヲ有スルニ當リ其承諾ナ

クカシテ賃借人カ之ヲ他ニ移轉シ又ハ轉借人

ニ屬スルニ屬スルトキ其取戻差押ヲ為ス場

合ニ於テモ亦同一ナリトス(但保編才百四十

八才二項及ヒ才百五十条参看)

又若シ之ニ反シテ債權ヲ債務者ノ自ラ占有ス

又若シ之ニ反シテ債權ヲ債務者ノ自ラ占有ス

ル 動産ノ差押ヘタリトセレカ債務者ハ其差

● 押ニ因リテ十分ニ之ヲ知ルニト得ヘシ故●

● 他ニ何カノ通知ヲ要セサルハ勿論ナリ

第百十八條 追認ハ時効中断ノ最後ノ方法ニ

シ●テ且最頻繁ナル方法中ノ一ナリ何トナセ

レハ其方法ハ迅速ニシテ且殆ト費用ヲ要セサ

ナシハナリ

● 追認ハ裁判上ニ於テ之ヲ為ステラ得ハク或

● 裁判外ニ之ヲ為ステラ得ヘシ

才一裁判上ニテハ追認ハ任意タルヲ有リ即

夕々事案ノ審問ニ因リテ得タル自向ナルニ

才動一裁判上ニテハ追認ハ任意タルヲ有リ即

夕々事實ノ審問ニ因リテ得タル自向ナルニ

トテ得ヘシ此事タル上段ニ説キタル時効ノ抛

棄ハ此種ノ審問ヲ以テ之ヲ喚起スルヲ得

不外トテトニ毫モ抵觸スル所ナシ前ニ述ヘタ

ルニ場合ハ爰ニ説ク場合ノ如ク尚ホ進行中

ナル時効ニ関スルニ非ズシテ已ニ成就シタル

ニ時効ニ関スルモノナリトス若シ才九十六條

ノニ場合ニ於テ事實ノ訊問ヲ許ストキハ必ス

中ニ法律ノ推定スル取得又ハ免責ノ真否ニ及

ハフヘク即々時効ハ果シテ事實ニ合スルヤ否

ヲ	審	問	ス	ル	ニ	至	ル	可	シ	是	レ	實	ニ	法	律	ノ	許	ス
カ	ル	取	リ	照	レ	ト	モ	本	全	ノ	場	合	ニ	於	テ	ハ	之	
ニ	及	シ	時	効	カ	未	タ	成	就	セ	ス	後	テ	有	効	ニ	援	用
セ	ラ	ル	能	ハ	サ	ル	時	ニ	於	テ	權	利	ノ	基	礎	即		
今	取	有	權	又	ハ	債	權	ノ	存	否	ニ	付	キ	審	問	ヲ	為	ス
モ	ノ	ナ	リ	此	時	ニ	当	リ	若	シ	被	告	ニ	於	テ	原	告	ノ
利	ヲ	追	認	セ	サ	ル	片	人	被	告	ハ	直	チ	ニ	敗	訴	ス	可
之	故	ニ	被	告	ニ	於	テ	此	追	認	ヲ	為	ス	ハ	實	ニ	希	望
不	平	ナ	リ	且	此	追	認	ハ	被	告	ノ	為	ス	ニ	モ	利		

ト  
 勸誘  
 スル  
 ハ  
 為  
 然  
 然  
 ハ  
 則  
 ヲ  
 被  
 告  
 ノ  
 之  
 ヲ  
 為  
 ス  
 コ  
 ト

益タル可シ然ラハ則テ被告ノ之ヲ為スコト

トシ勸誘スルハ当然ノト云フ可キナリ

力ヲニ裁判外ニ於テハ或ハ公正証人又ハ私署

証人ヲ以テ自白ヲ為スヲ得ヘク或ハ唇翰

ヲ以テ之ヲ為スヲ得ヘシ尚ホ口頭ニテ之ヲ

為勸告トシテ得ヘシト雖モ此口頭自白ハ才三十

ニ六条ニ從ヒ証人ヲ以テ此自白ヲ証シ得ヘク

ナ場合ノニ限ル可シ

本條ニ說明ヲ終ルニ臨ニ事實ノ錯誤ニ因リ

テ自白ヲ取消シタル場合ニ付テ全ク例外ナリ

ル論及ヲ與ヘタル才三十七條ノ規定ヲ注意ス

可  
●  
シ  
此  
ノ  
如  
キ  
此  
ノ  
場  
合  
ニ  
於  
テ  
ヤ  
中  
断  
ハ  
全  
ク  
有  
効  
ナ  
ル  
ニ  
モ  
非  
ス  
又  
全  
ク  
不  
成  
立  
ナ  
ル  
ニ  
モ  
非  
ク  
ラ  
ス  
一  
方  
ニ  
於  
テ  
被  
告  
ハ  
原  
告  
ノ  
主  
張  
ヲ  
告  
知  
セ  
ラ  
レ  
タ  
ル  
モ  
ノ  
ニ  
シ  
テ  
自  
白  
ノ  
取  
消  
ハ  
此  
認  
識  
ヲ  
毀  
滅  
ス  
ル  
モ  
ノ  
ニ  
非  
ス  
又  
他  
ノ  
一  
方  
ニ  
於  
テ  
被  
告  
ハ  
其  
自  
白  
ノ  
有  
効  
ナ  
リ  
シ  
場  
合  
ト  
同  
一  
ニ  
不  
利  
益  
ヲ  
受  
ク  
ヘ  
ル  
ニ  
非  
ス  
故  
ニ  
立  
法  
者  
ハ  
被  
告  
ヲ  
自  
白  
ノ  
時  
効  
ノ  
利  
ヲ  
受  
ケ  
ル  
ニ  
非  
ズ  
以  
テ  
此  
兩  
箇  
ノ  
反  
対  
セ  
ル  
利  
益  
ヲ

調和セシメタリ

第百十九條 本條ノ追認ニ關シ該地ノ區別